



東京2020大会 都立競技会場等における観客のアクセシビリティ確保状況 調査報告書

— 概要版 —

令和4年3月 東京都



はじめに

東京都は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「大会」という。）に向け、障害の有無に関わらず国内外から訪れるすべての方に快適に競技観戦を楽しんでいただけるよう、都立競技会場や会場までのルート整備等に取り組んでまいりました。

また、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（以下「組織委員会」という。）も、仮設競技会場の整備や会場内のアクセシビリティの確保を行うなど、大会に向けて準備を進めてまいりました。

都は、こうした取組を大会のレガシーとして伝えていくため、都立競技会場と都内の仮設で整備された競技会場を対象に、大会期間中に観客の目線でアクセシビリティの確保状況を調査し、記録しました。

コロナ禍により大会を間近にして都内会場での競技は無観客で実施されました。実際に観客をお迎えすることはできませんでしたが、本報告書を通じて、大会のアクセシビリティ対応について共有いたします。

今後、アクセシビリティの取組がさらに広がり、大会のレガシーとして共生社会実現の一助となれば幸いです。

令和4年3月
東京都オリンピック・パラリンピック準備局

目次

P.1 調査概要

1. 調査内容
2. 調査時期
3. 調査対象

P.3 大会におけるアクセシビリティの確保に向けた取組

1. 「Tokyo2020 アクセシビリティ・ガイドライン」の策定
2. 東京都における恒久施設の整備
～東京2020大会都立競技施設におけるアクセシビリティ・ワークショップ～
3. 組織委員会における対応
4. アクセシブルルートの選定・整備、アクセシブルシャトルの運行計画（輸送運営計画V2）

競技会場アクセシビリティ調査

▼都立競技会場

- P.7 東京アクアティクスセンター
- P.10 有明アリーナ
- P.13 海の森水上競技場
- P.16 カヌー・スラロームセンター
- P.19 大井ホッケー競技場
- P.22 夢の島公園アーチェリー場
- P.25 有明テニスの森
- P.28 武蔵野の森総合スポーツプラザ
- P.31 東京体育館
- P.34 東京辰巳国際水泳場
- P.37 東京スタジアム
- P.40 東京国際フォーラム

▼都内仮設競技会場

- P.43 有明体操競技場
- P.46 有明アーバンスポーツパーク
- P.49 お台場海浜公園
- P.52 潮風公園
- P.55 青海アーバンスポーツパーク
- P.58 海の森クロスカントリーコース



1. 調査内容

大会の競技会場については、恒設・仮設ともに組織委員会が策定した大会のアクセシビリティの指針である「Tokyo2020アクセシビリティ・ガイドライン（※P3参照）」を踏まえて整備された。このうち、都立の11の恒設会場については、大会後の利用も見据え、障害のある方や学識経験者からなる「アクセシビリティ・ワークショップ（※P4参照）」で様々な項目について検討し、意見を踏まえて整備された。その上で、各会場において、組織委員会が、大会を運営するに当たり追加で必要となる設備を仮設で整備し、大会時における観客等のアクセシビリティを確保した（※P5参照）。

また、大会では、観客は公共交通を利用することが基本的な方針とされており、競技会場と観客利用想定駅との間を通行する観客ルート（歩行者ルート）が、距離や分かりやすさ、安全性、生活動線などを配慮の上、会場ごとに選定された。このうち、アクセシビリティに配慮が必要な観客の動線をアクセシブルルートとして選定した（アクセシブルルートは、歩行者ルートと同じ経路が基本）。こうしたアクセシブルルートを含む会場までのルートや競技会場の観客利用想定駅等については、組織委員会と東京都が策定した「輸送運営計画V2（※P6参照）」に定めている。

本調査は、大会時の都立競技会場、都内の仮設で整備された競技会場及びそれらの会場のアクセシブルルート等における、観客に向けたアクセシビリティの確保状況について調査し、記録したものである。

なお、競技会場の調査については、大会期間中に立ち入り可能なエリアで調査を行った。選手及び大会関係者が利用するエリアについては、本調査の対象外である。

2. 調査時期

東京2020オリンピック・パラリンピック大会開催期間中（令和3年7月23日～9月5日）

3. 調査対象

（1）競技会場及びアクセシブルルート

（ア）都立競技会場（12会場）及びアクセシブルルート

東京アクアティクスセンター、有明アリーナ、海の森水上競技場、カヌー・スラロームセンター、大井ホッケー競技場、夢の島公園アーチェリー場、有明テニスの森、武蔵野の森総合スポーツプラザ、東京体育館、東京辰巳国際水泳場、東京スタジアム、東京国際フォーラム

（イ）都内仮設競技会場（6会場）及びアクセシブルルート

有明体操競技場、有明アーバンスポーツパーク、お台場海浜公園、潮風公園、青海アーバンスポーツパーク、海の森クロスカントリーコース

<調査項目>

- ・競技会場：会場入口から観客席までの動線・アクセシビリティに配慮した各種設備（①車いす使用者席（同伴者席を含む）、②観客席、③アクセシビリティに配慮した各種トイレ、④サイン、⑤エレベーター など）
- ・アクセシブルルート：観客利用想定駅から会場までのルート上の視覚障害者誘導用ブロックなど
※無観客により、仮設の視覚障害者誘導用ブロック、案内サイン等は、整備されていないため、恒常的設備を調査

（2）視覚障害者に対する情報保障

（3）アクセシブルシャトル乗降場（無観客開催決定前の計画地）（7か所）

大井競馬場駐車場、葛西臨海公園駐車場、渋谷区神宮前五丁目都有地（旧青山病院）、砧公園駐車場、野川公園駐車場、高輪ゲートウェイ駅、飛田給駅

（4）東京国際空港（羽田空港）及び成田国際空港

<調査項目> 出入国ゲートから出入口までの動線と案内サイン など

概要版（本書）の掲載内容について

- ・概要版（本書）には、上記「3.調査対象（1）」の調査記録の一部を掲載（その他の調査対象については、下記<報告書本編>に掲載）

<参考・報告書本編>

<https://www.2020games.metro.tokyo.lg.jp/taikaijyunbi/houkoku/accessibility-chousa/index.html>

- ・各会場ページに掲載している会場マップは、真上から見た図であるため、一部の会場ではフロアの重なりにより、実際の設置されている設備等が表示されていない箇所がある。

<QRコード>



大会におけるアクセシビリティの確保に向けた取組（1）

1. 「Tokyo2020 アクセシビリティ・ガイドライン」の策定

「Tokyo2020 アクセシビリティ・ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）は、組織委員会が、障害の有無に関わらず、すべての人々にとってアクセシブルでインクルーシブな大会を実現するため、国の行政機関、東京都、関係地方公共団体、障害者団体等の参画を得て、策定したものである。

【発行】

公益財団法人 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

【発行年月日】

2017年3月24日

<参考>

<https://www.tokyo2020.jp/ja/organising-committee/accessibility/index.html>

<QRコード>



ガイドラインを踏まえた整備の考え方

組織委員会は、適用対象施設の所有者・管理者等に対し、それぞれの計画に基づき、ガイドラインに即した施設建設・改修工事を実施するよう依頼し、レガシーとなる恒常的な施設としての環境整備を働きかけた。

また、恒常的な環境整備が困難な場合（※）、仮設による整備、ソフト的対応（専用車等による移動支援、ボランティアによるサポート等）により、ガイドラインを踏まえたサービス水準を確保することとした。

※本調査で対象とした都立競技会場においては、大会の運営計画、仮設観客席のために追加で必要な設備が生じる、既存のアクセシビリティ設備が観客の（アクセス可能）エリア外になるなどの場合が、これに該当する。

基準の設定

数値基準の考え方は、IPC（国際パラリンピック委員会）ガイドと関係国内法令等に基づき整理した。

推奨基準・・・『東京都条例等による望ましい整備』及び『IPC ガイド記載のベストプラクティス』の水準を総合的に勘案し設定。
新設の会場、主要駅等のアクセシブルな動線等として大会時に適用する範囲において、仮設対応を含めて、可能な限り実現を目指す。

標準基準・・・『IPCガイドの遵守基準』、『国の推奨基準』、『国の遵守基準を上回る東京都条例等の整備標準（遵守基準／努力基準）』の水準のうち、相対的に高いものを総合的に勘案し設定。
既存の会場、多くのアクセシブルな動線等として大会時に適用する範囲において、現場条件や大会後の利用ニーズ等を勘案し仮設対応を含めて、可能な限り実現を目指す。

2. 東京都における恒久施設の整備

～東京2020大会都立競技施設におけるアクセシビリティ・ワークショップ～

東京都は、ガイドラインを踏まえて、競技会場となる都立の恒久施設を整備・改修した。具体的な整備に当たっては、より障害者の目線に立った施設となるよう、障害者団体、学識経験者、障害者スポーツ団体で構成する「アクセシビリティ・ワークショップ」（以下「ワークショップ」という。）を平成28年3月に設置し、設計段階から意見を聴取した。平成28年3月から平成31年2月まで8回のワークショップを開催し、大会時だけでなく、大会後の利用も見据えて、障害のある人もない人も含めた全ての人にとって使いやすい施設を残すことを目指し、様々な項目について、検討を実施し、様々な意見を踏まえて整備方針（※）を取りまとめ、施設の整備や改修を進めた。

<ワークショップにおける検討対象施設 都立競技会場（11会場）>

東京アクアティクスセンター、有明アリーナ、海の森水上競技場、カヌー・スラロームセンター、大井ホッケー競技場、夢の島公園アーチェリー場、有明テニスの森、武蔵野の森総合スポーツプラザ、東京体育館、東京辰巳国際水泳場、東京スタジアム

※ 主な整備方針

ワークショップにて、各施設について意見聴取を行い「観客席（仕様や車いす使用者席の分散配置）」「トイレ（仕様や車いす対応トイレなどの機能分散）」「サイン（配置・大きさやピクトグラム）」「その他（音声案内や集団補聴設備）」などの項目について検討し整備方針を取りまとめた。

<参考> アクセシビリティ・ワークショップ

<https://www.2020games.metro.tokyo.lg.jp/taikaijyunbi/torikumi/facility/accessibility-workshop/index.html>

<QRコード>



3. 組織委員会における対応

組織委員会は、ガイドラインを踏まえて、都内において、以下の仮設競技会場を整備した。

< 都内仮設競技会場（6会場） >

有明体操競技場、有明アーバンスポーツパーク、お台場海浜公園、潮風公園、青海アーバンスポーツパーク、海の森クロスカントリーコース

また、上記の都内仮設競技会場及び都立競技会場（ワークショップにおける検討対象施設11会場・東京国際フォーラム）において、大会を運営するに当たり追加が必要となる設備を仮設で整備し、大会時における観客等のアクセシビリティを確保した。

< 大会仕様の仮設整備の例 >

屋外スロープ、多機能トイレ、授乳室、観客用医務室、祈祷室、補助犬トイレ、ベビーカー置き場、大会用案内サイン 等

4. アクセシブルルートを選定・整備、アクセシブルシャトルの運行計画（輸送運営計画V2）

（１）概要

輸送運営計画は、組織委員会及び東京都が、大会の輸送について、選手や大会関係者、観客・スタッフの安全・円滑な輸送と社会・経済活動の安定との両立を図るため、国や関係自治体、警察、交通事業者等から構成される輸送連絡調整会議において議論を重ねて、策定したものである。

（２）アクセシブルルートを選定・整備

各競技会場から駅までの距離や、歩道の幅員などを踏まえてアクセシビリティに配慮が必要な観客やその同伴者が円滑に移動できるよう、駅から会場までの経路において、アクセシブルルートを選定した。選定にあたっては、鉄道事業者や、道路管理者など各関係機関のご協力のもと、綿密な協議・調整を実施し、道路においては当事者団体との現場調査、意見交換を実施した。

選定したルートについて、ガイドラインを踏まえ、鉄道事業者や道路管理者への恒常的整備を働きかけ、道路では、バリアフリー化を国や都、区・市の道路管理者等の関係機関が連携して取り組むなど、大会のレガシーとなることも見据えた積極的な環境整備が進められた。

また、競技会場出入口付近やアクセシブルシャトル乗降場付近など、大会時のみの運用のため恒常的整備で対応できない箇所については、仮設で視覚障害者誘導用ブロックを連続設置するなど、仮設による整備も計画するとともに、ソフト的対応として、サインによる適切なルートの案内・誘導、事前の情報提供等についても検討・調整を行った。ただし、都内会場は無観客開催となったため、仮設による整備やサインによるルートの案内・誘導などは見送られた。

（３）アクセシブルシャトルの運行計画

観客のうち、主に車いす使用者等のアクセシビリティに配慮が必要な観客を対象にタクシー車両（ユニバーサルデザインタクシーや福祉タクシーなど）やバス車両を用いて行う輸送サービスとして、一部の会場において、事前予約制によるアクセシブルシャトルの運行を予定した。しかし、都内会場は無観客となったため、アクセシブルシャトルの運行は見送られた。

なお、アクセシブルシャトルの拠点は、自家用車等からアクセシブルシャトルに乗り換えるパーク&ライド方式では、「大井競馬場駐車場」、「葛西臨海公園駐車場」、「渋谷区神宮前五丁目都有地（旧青山病院）」「砧公園駐車場」「野川公園駐車場」とし、鉄道等の公共交通機関を利用してアクセスする場合は、「高輪ゲートウェイ駅」及び「飛田給駅」の駅前を乗降拠点とした。

<参考> 輸送運営計画V2 更新（2021年2月末時点）

https://www.2020games.metro.tokyo.lg.jp/taikaijyunbi/torikumi/yusou/yusou_v2_koushin/index.html

<QRコード>



【実施競技】

オリンピック：アーティスティックスイミング、
飛込、競泳

パラリンピック：水泳

【施設概要（レガシー）】

所在地：江東区辰巳二丁目2番1号
(辰巳の森海浜公園内)

延べ面積：約50,600㎡（大会時：約64,400㎡）

建物：地下1階、地上4階



競技会場入口からの動線

- 大会時に仮設で設置した会場入口には、アクセシブル専用の入口を設け、スロープを設置
- 会場入口（アクセシブル入口）からの動線は、高齢者や障害者、乳幼児連れ、補助犬ユーザー等がスムーズに移動できる適切な通路幅を確保し、利用者に分かりやすい経路を設定
- 乳幼児連れでも安心して来場できるように、ベビーケアルームやベビーカー置き場を設置
- 車いす使用者がスムーズにアクセスできるよう多機能トイレや観客用医務室等にスロープを設置



1 アクセシブル入口（仮設）



2 競技会場マップ（仮設）

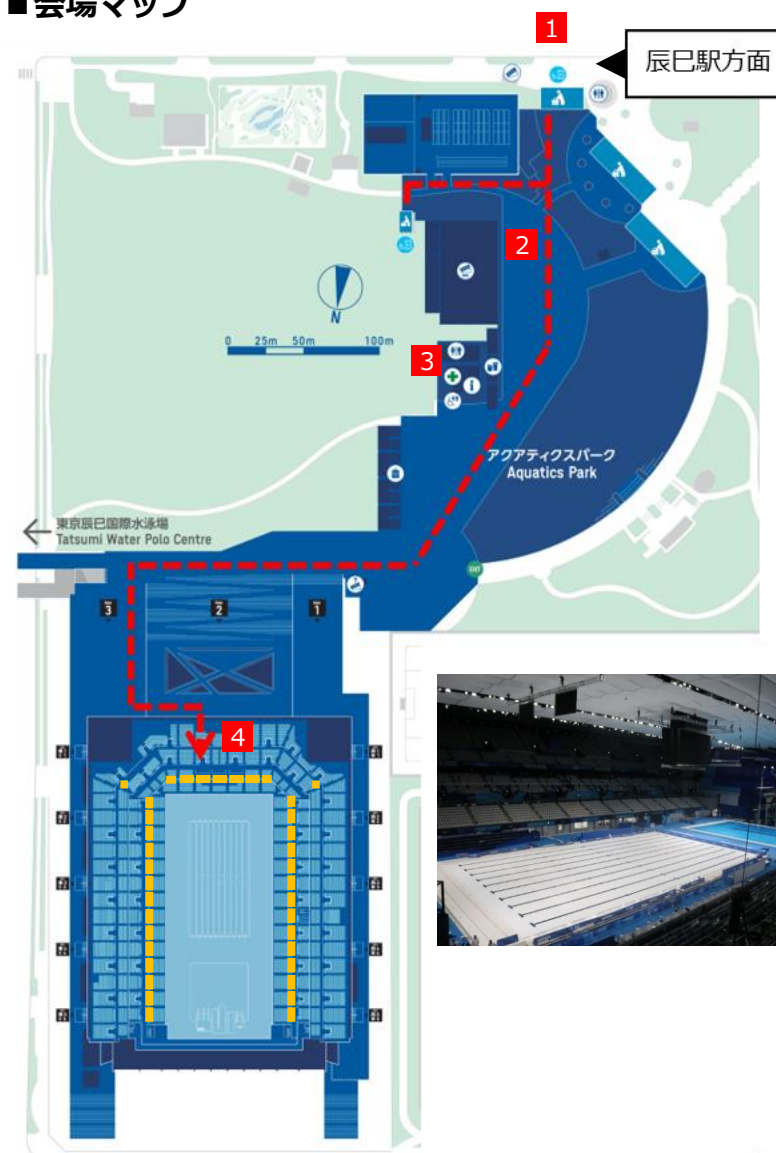


3 多機能トイレ・観客用医務室（仮設）



4 ベビーケアルーム（仮設）

■会場マップ

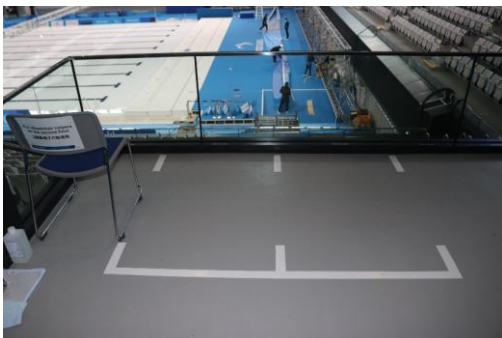


- : アクセシブル入口
- : 競技会場入口からの動線（一例）
- : 車いす使用者席（2～4階）
※3階の車いす使用者席は、4階席の張り出し部分の下にあるため、上記マップでは表示されていない。

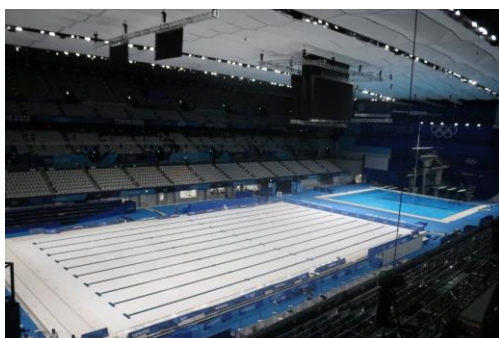
車いす使用者席・観客席

- ・前列の観客が立ち上がった場合でも車いす使用者の視界を妨げないようサイトラインを確保
- ・車いす使用者等も様々な場所から観戦できるように車いす使用者席・同伴者席、優先席（付加アメニティ席）を垂直・水平方向に分散して配置。同伴者席・優先席には動かせる椅子を用いることで、多様な利用形態に対応できるスペースとして用意
- ・車いす使用者や同伴者が快適に利用できる十分な広さのスペースを確保
- ・観客席階段に、点字案内付き手がかりを設置

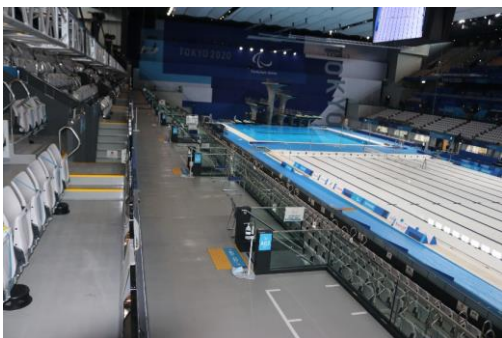
車いす使用者席（恒設）



競技エリアの見え方（3階車いす使用者席）



通路（恒設）



点字案内付き手がかり（恒設）



アクセシビリティに配慮した各種トイレ（恒設・仮設）

- ・利用者それぞれに対応した「車いす対応トイレ」「男女共用トイレ」「オストメイト対応トイレ」「乳幼児対応トイレ」などを恒設で設置。便房内の手すりは、壁面等と異なる配色とするなど、コントラスト確保に配慮
- ・大会時に仮設で設置した多機能トイレには、車いす使用者等がスムーズにアクセスできるよう、入口にスロープを設置するとともに、便房内は、車いす使用者が快適に利用できる十分な広さのスペースを確保。オストメイト用設備や介助用ベッドを設置

車いす対応トイレ（恒設）



手すり

男女共用トイレ（恒設）



オストメイト対応トイレ（仮設）



オストメイト用設備

スロープ（仮設）



アクセシブルルートの観客利用想定駅：東京メトロ有楽町線「辰巳駅」



※上記に記載している出入口やルート等は、大会の有観客による開催を想定した計画であり、無観客により大会時の運用は異なっている。また、現在、この運用はされていない

・連続的に視覚障害者誘導用ブロックやエスコートゾーン等を整備

1 視覚障害者誘導用ブロック（辰巳の森歩道橋）



整備

2 音響信号・エスコートゾーン（辰巳日赤前交差点）



整備

整備

3 視覚障害者誘導用ブロック（辰巳日赤前交差点付近）



整備

【実施競技】

オリンピック：バレーボール
パラリンピック：車いすバスケットボール

【施設概要（レガシー）】

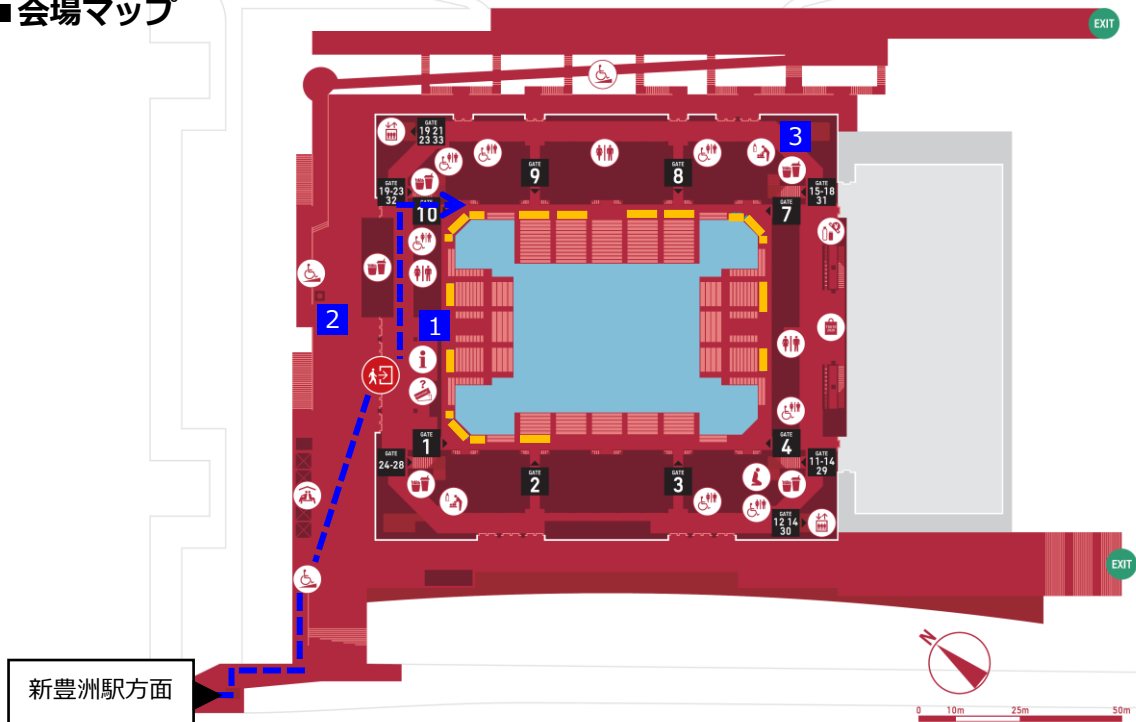
所在地：江東区有明一丁目11番1号
延べ面積：約47,200㎡
建物：地上5階



競技会場入口からの動線

- ・会場入口（アクセシブル入口）からの動線は、高齢者や障害者、乳幼児連れ、補助犬ユーザー等がスムーズに移動できる適切な通路幅を確保し、利用者に分かりやすい経路を設定
- ・入場者と退場者の錯綜を防ぐため、会場内の入退場動線の完全分離を計画
- ・大会時は、視覚障害者や高齢者にも見やすい大きさや色、フォントの文字等の使用した案内サインを設置
- ・乳幼児連れでも安心して来場できるように、ベビーケアルームやベビーカー置き場を設置

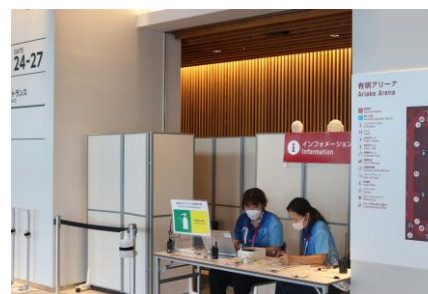
■会場マップ



※アクセシブル入口は、建物部分から距離が離れているため、マップには記載していない

- (人車) : 会場入口
- > : 競技会場入口からの動線（一例）
- : 車いす使用者席（1～4階）

※2階以外の車いす使用者席は、上記マップには表示されていない。



1 インフォメーション（仮設）



2 競技会場内案内サイン（屋外・仮設）



3 ベビーケアルーム（恒設）

車いす使用者席・観客席

- ・前列の観客が立ち上がった場合でも車いす使用者の視界を妨げないようサイトラインを確保
- ・車いす使用者等も様々な場所から観戦できるように車いす使用者席・同伴者席、優先席（付加アメニティ席）を垂直・水平方向に分散して配置。同伴者席・優先席には動かせる椅子を用いることで、多様な利用形態に対応できるスペースとして用意
- ・車いす使用者や同伴者が快適に利用できる十分な広さのスペースを確保
- ・観客席階段に手がかりを設置

車いす使用者席（恒設）



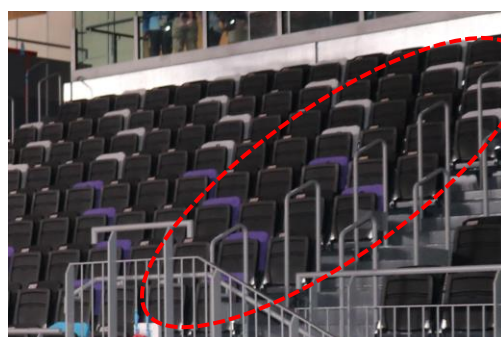
競技エリアの見え方（４階車いす使用者席）



通路（恒設）



観客席 手がかり（恒設）



アクセシビリティに配慮した各種トイレ（恒設）

- ・利用者それぞれに対応した「車いす対応トイレ」「男女共用トイレ」「オストメイト対応トイレ」「乳幼児対応トイレ」などを恒設で設置
- ・利用者集中による混雑緩和のため、上記トイレを男女別に一般トイレと離れた位置に分散配置
- ・便房内の手すりは、壁面等と異なる配色とするなど、コントラスト確保に配慮
- ・視覚障害者にも分かりやすく利用できるよう触知案内板や点字を設置

車いす対応トイレ



手すり

介助用ベッド

触知案内板

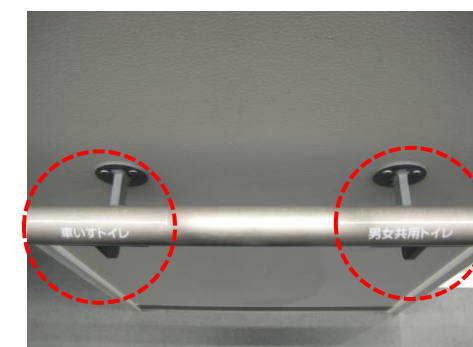


オストメイト対応トイレ



オストメイト用設備

点字案内



アクセシブルルートの観客利用想定駅：ゆりかもめ「新豊洲駅」



- ・輝度比が確保できるように明暗をつけて視覚障害者誘導用ブロックを整備

1 視覚障害者誘導用ブロック（有明体操競技場側）



整備

※上記に記載している出入口やルート等は、大会の有観客による開催を想定した計画であり、無観客により大会時の運用は異なっている。また、現在、この運用はされていない

【実施競技】

オリンピック：カヌー（スプリント）、ボート
 パラリンピック：カヌー、ボート

【施設概要（レガシー）】

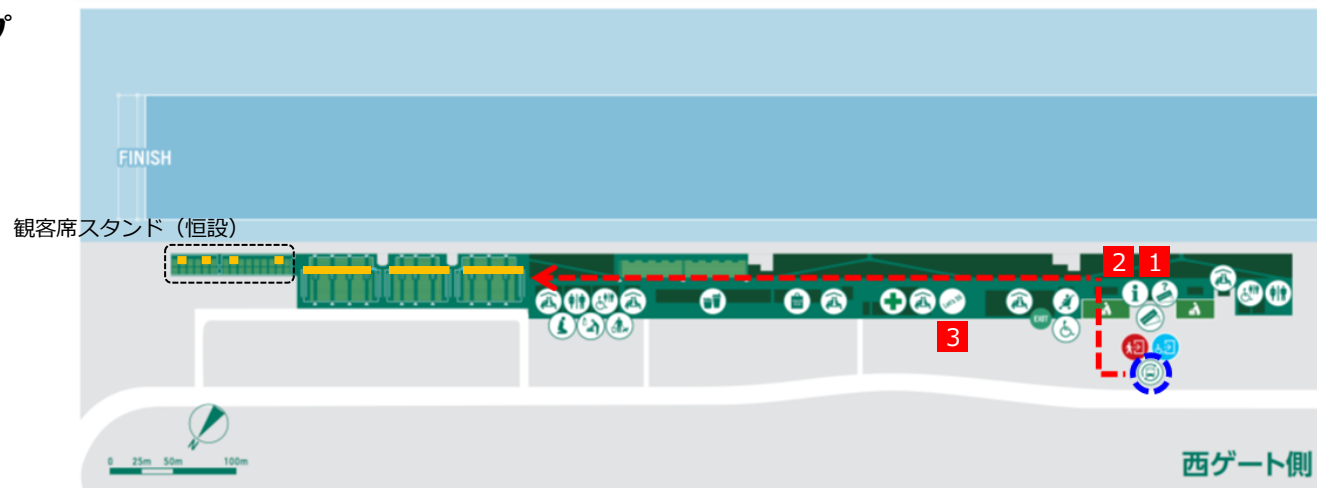
所在地：江東区海の森三丁目6番44号
 競技コース：2,000m×8レーン
 建物：グランドスタンド棟 2階建、艇庫棟 2階建、
 フィニッシュタワー棟 3階建



競技会場入口からの動線

- ・シャトルバス乗降場付近に会場入口を設置
- ・会場入口（アクセシブル入口）からの動線は、高齢者や障害者、乳幼児連れ、補助犬ユーザー等がスムーズに移動できる適切な通路幅を確保し、利用者に分かりやすい経路を設定
- ・車いす使用者等がスムーズにアクセスできるよう、スロープの設置や芝生の上に養生マットを敷設

■会場マップ



※南ゲート側にも仮設観客席等の設備があるが、大会期間中はメインで使用された西ゲート側を調査

- ①: 会場入口
- ②: アクセシブル入口
- ③: シャトル乗降場
- >: 競技会場入口からの動線（一例）
- : 車いす使用者席



1 競技会場マップ（仮設）



2 インフォメーション（仮設）



3 競技体験エリア（仮設）
 ※無観客により、体験機材は未設置

養生マット

車いす使用者席・観客席

※立ち入り可能な仮設観客席エリアを調査

- ・入口からアクセスしやすい箇所（西ゲート側）に車いす使用者席を設置。観客席周りが芝のため、養生マットを設置
- ・車いす使用者や同伴者が快適に利用できる十分な広さのスペースを確保
- ・前列の観客が立ち上がった場合でも車いす使用者の視界を妨げないよう、サイトラインを確保。席の前にある手すりを低く設置

車いす使用者席、通路（仮設）



競技エリアの見え方（車いす使用者席）



スロープ（仮設）



観客席（仮設）



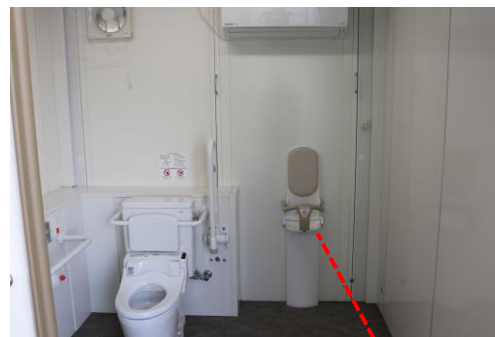
養生マット

アクセシビリティに配慮した各種トイレ（仮設）

※海の森クロスカントリーコースと共有
※立ち入り可能な仮設トイレを調査

- ・大会時は観客向けに仮設でトイレを設置
- ・車いす使用者等がスムーズにアクセスできるよう、入口にスロープを設置
- ・車いす対応トイレの便房内は、車いす使用者が快適に利用できる十分な広さのスペースを確保
- ・乳幼児対応設備やオストメイト用設備を設置するなど、多様な利用形態に対応

車いす対応トイレ



ベビーチェア

オストメイト対応トイレ



オストメイト用設備

スロープ



アクセシブルルートの観客利用想定駅：りんかい線「東京テレポート駅」（車いす使用者席がある西ゲートにはシャトルバスで移動）



・駅前広場の整備に併せて、段差解消や視覚障害者誘導用ブロックを整備

1 視覚障害者誘導用ブロック（駅前）



整備

※上記に記載している出入口やルート等は、大会の有観客による開催を想定した計画であり、無観客により大会時の運用は異なっている。また、現在、この運用はされていない

【実施競技】

オリンピック：カヌー（スラローム）

【施設概要（レガシー）】

所在地：江戸川区臨海町六丁目1番1号
（葛西臨海公園隣接地）

競技コース：約200m
（ウォーミングアップコース：約180m）

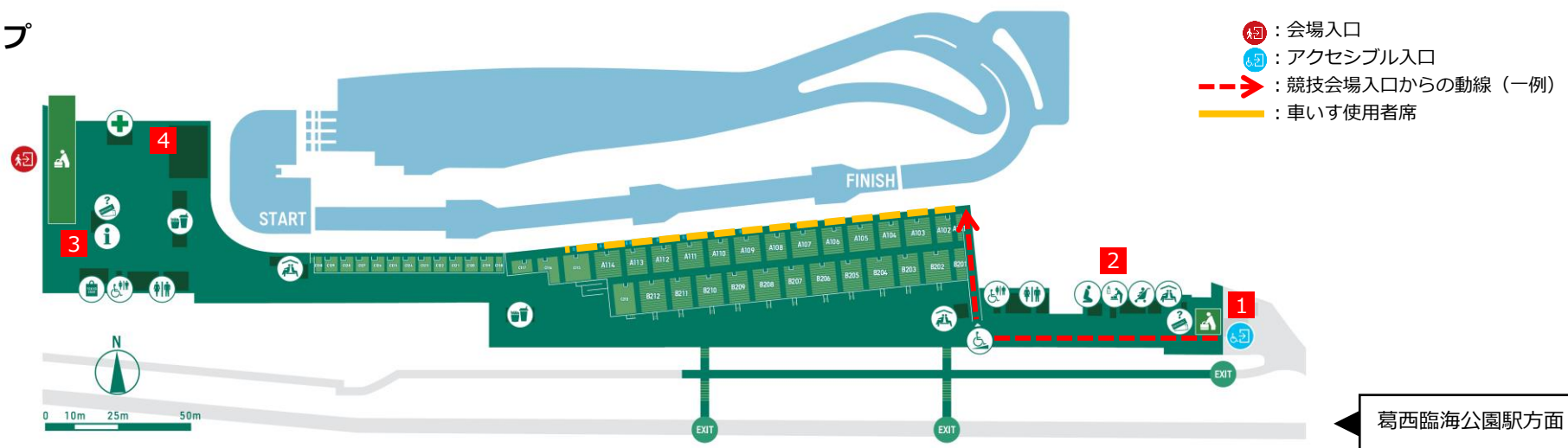
延べ面積：約47,200㎡



競技会場入口からの動線

- ・大会時は、観客利用想定駅からの距離が近い会場東側にアクセシブル専用の入口を設置
- ・会場入口（アクセシブル入口）からの動線は、高齢者や障害者、乳幼児連れ、補助犬ユーザー等がスムーズに移動できる適切な通路幅を確保し、利用者に分かりやすい経路を設定
- ・車いす使用者等がスムーズにアクセスできるようスロープを設置

■会場マップ



1 アクセシブル入口（仮設）



2 ベビーケアルーム（仮設）



3 インフォメーション（仮設）



4 競技会場マップ（仮設）

車いす使用者席・観客席

- ・観客席の前列に車いす使用者席を配置し、車いす使用者の視界を妨げないようサイトラインを確保
- ・車いす使用者や同伴者が快適に利用できる十分な広さのスペースを確保
- ・観客席階段に手がかりを設置
- ・スロープや階段に点状ブロックを設置し、コントラストを付けて視認性を確保

アクセシビリティに配慮した各種トイレ（仮設）

- ・大会時は観客向けに仮設でトイレを設置
- ・車いす使用者等がスムーズにアクセスできるよう、入口にスロープを設置
- ・車いす対応トイレの便房内は、車いす使用者が快適に利用できる十分な広さのスペースを確保
- ・オストメイト用設備を設置するなど、多様な利用形態に対応
- ・非常呼び出しボタンは、床に倒れた際にも使用できるよう低い位置にも設置

車いす使用者席（仮設）



競技エリアの見え方（車いす使用者席）



車いす対応トイレ



手すり

非常呼び出しボタン

スロープ（仮設）



点状ブロック

観客席 手がかり（仮設）



オストメイト対応トイレ



手すり

オストメイト用設備

スロープ



アクセシブルルートの観客利用想定駅：JR京葉線「葛西臨海公園駅」



・園路や駅前の勾配改善に併せて、視覚障害者誘導用ブロックを整備

1 視覚障害者誘導用ブロック（園路）



整備

2 視覚障害者誘導用ブロック（園路）



整備

※上記に記載している出入口やルート等は、大会の有観客による開催を想定した計画であり、無観客により大会時の運用は異なっている。また、現在、この運用はされていない

【実施競技】

オリンピック：ホッケー

【施設概要（レガシー）】

所在地：品川区八潮四丁目1番19号、
大田区東海一丁目2番1号
(大井ふ頭中央海浜公園内)

主要施設：ショートパイル人工芝グラウンド、
散水設備、夜間照明など



競技会場入口からの動線

- ・大会時に仮設で設置した会場入口には、アクセシブル専用の入口を設置
- ・会場入口（アクセシブル入口）からの動線は、高齢者や障害者、乳幼児連れ、補助犬ユーザー等がスムーズに移動できる適切な通路幅を確保し、利用者に分かりやすい経路を設定
- ・車いす使用者等がスムーズにアクセスできるようスロープを設置



1 アクセシブル入口/会場側（仮設）



2 観客用医務室（仮設）

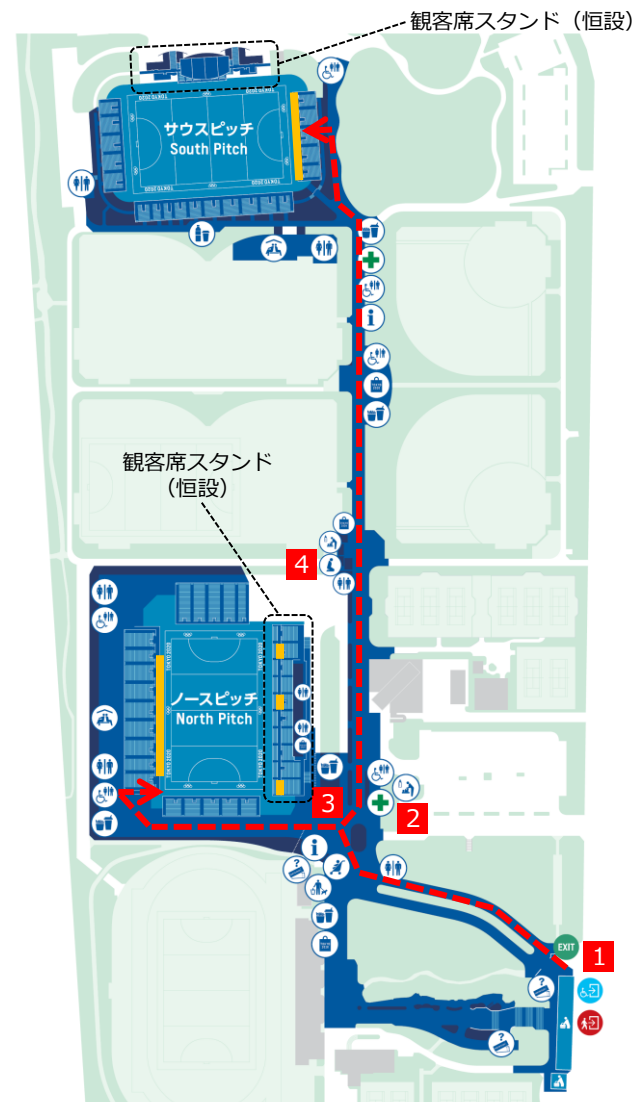


3 競技会場マップ（仮設）



4 祈祷室（仮設）

■会場マップ



- (Red circle with white text): 会場入口
- (Blue circle with white text): アクセシブル入口
- (Red dashed line with arrow): 競技会場入口からの動線（一例）
- (Yellow line): 車いす使用者席

大井競馬場前駅方面

車いす使用者席・観客席

※立ち入り可能な仮設観客席エリアを調査

- ・観客席の前列に車いす使用者席を配置し、車いす使用者の視界を妨げないようサイトラインを確保。席の前にある手すりを低く設置
- ・車いす使用者や同伴者が快適に利用できる十分な広さのスペースを確保
- ・階段の降り口・昇り口に点状ブロックを敷設するとともに、段鼻にはコントラストを付けて視認性を確保

車いす使用者席（仮設）



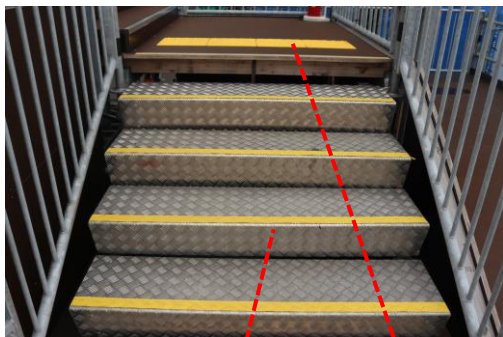
※ノースピッチ

競技エリアの見え方（車いす使用者席）



※ノースピッチ

縦通路階段（仮設）



※ノースピッチ 段鼻 点状ブロック

観客席（仮設）



※ノースピッチ

アクセシビリティに配慮した各種トイレ（仮設）

※立ち入り可能な仮設トイレを調査

- ・大会時には、ノースピッチやサウスピッチの周辺や動線上に仮設でトイレを設置
- ・車いす使用者等がスムーズにアクセスできるよう、入口にスロープを設置
- ・車いす対応トイレの便房内は、車いす使用者が快適に利用できる十分な広さのスペースを確保
- ・オストメイト用設備を設置するなど、多様な利用形態に対応
- ・非常呼び出しボタンは、床に倒れた際にも使用できるよう低い位置にも設置

車いす対応トイレ



非常呼び出しボタン

オストメイト対応トイレ



オストメイト用設備

スロープ



アクセシブルルートの観客利用想定駅：東京モノレール「大井競馬場前駅」



※上記に記載している出入口やルート等は、大会の有観客による開催を想定した計画であり、無観客により大会時の運用は異なっている。また、現在、この運用はされていない

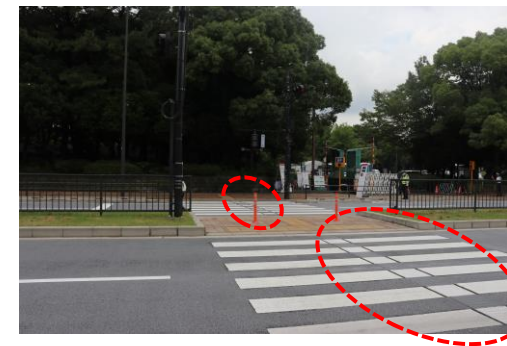
・休憩ベンチや視覚障害者誘導用ブロック等を整備（無電柱化や自転車走行空間の整備に併せて実施）

1 視覚障害者誘導用ブロック・休憩用ベンチ（なぎさの森公園付近）



整備

2 エスコートゾーン（会場付近）



【実施競技】

オリンピック：アーチェリー
パラリンピック：アーチェリー

【施設概要（レガシー）】

所在地：江東区夢の島二丁目1番4号
(都立夢の島公園)

主要施設：芝生広場（約18,000㎡、一部築山）
シューティングエリアの舗装面（約3,500㎡）
日除け屋根倉庫



※仮設で整備した決勝会場

競技会場入口からの動線

- ・大会時に仮設で設置した会場入口には、アクセシブル専用の入口を設け、スロープを設置
- ・会場入口（アクセシブル入口）からの動線は、高齢者や障害者、乳幼児連れ、補助犬ユーザー等がスムーズに移動できる適切な通路幅を確保し、利用者に分かりやすい経路を設定
- ・大会時は、視覚障害者や高齢者にも見やすい大きさや色、フォントの文字等の使用した案内サインを適所に設置

■会場マップ



1 アクセシブル入口/会場側（仮設）



2 インフォメーション（仮設）



3 競技会場マップ（仮設）



4 観客休憩エリア（仮設）

車いす使用者席・観客席

- ・観客席の前列に車いす使用者席を配置するとともに、手すりの高さを低くし、車いす使用者のサイトラインを確保
- ・車いす使用者や同伴者が快適に利用できる十分な広さのスペースを確保
- ・スロープや階段の降り口・昇り口に点状ブロックを敷設するとともに、段鼻にはコントラストを付けて視認性を確保

車いす使用者席（仮設）



競技エリアの見え方（車いす使用者席）

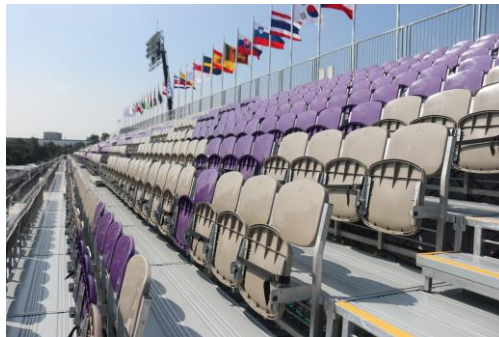


スロープ（仮設）



点状ブロック

観客席（仮設）

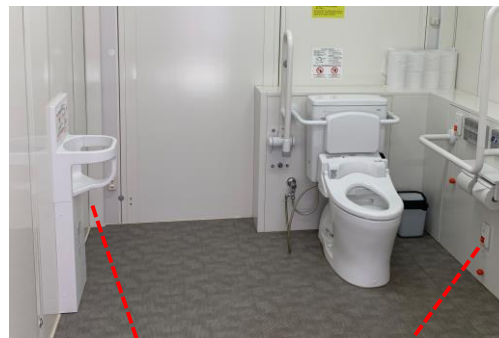


段鼻

アクセシビリティに配慮した各種トイレ（仮設）

- ・大会時は観客向けに仮設でトイレを設置
- ・車いす対応トイレの便房内は、車いす使用者が快適に利用できる十分な広さのスペースを確保
- ・オストメイト用設備を設置するなど、多様な利用形態に対応
- ・非常呼び出しボタンは、床に倒れた際にも使用できるよう低い位置にも設置

車いす対応トイレ



ベビーチェア

非常呼び出しボタン

出入口



オストメイト対応トイレ

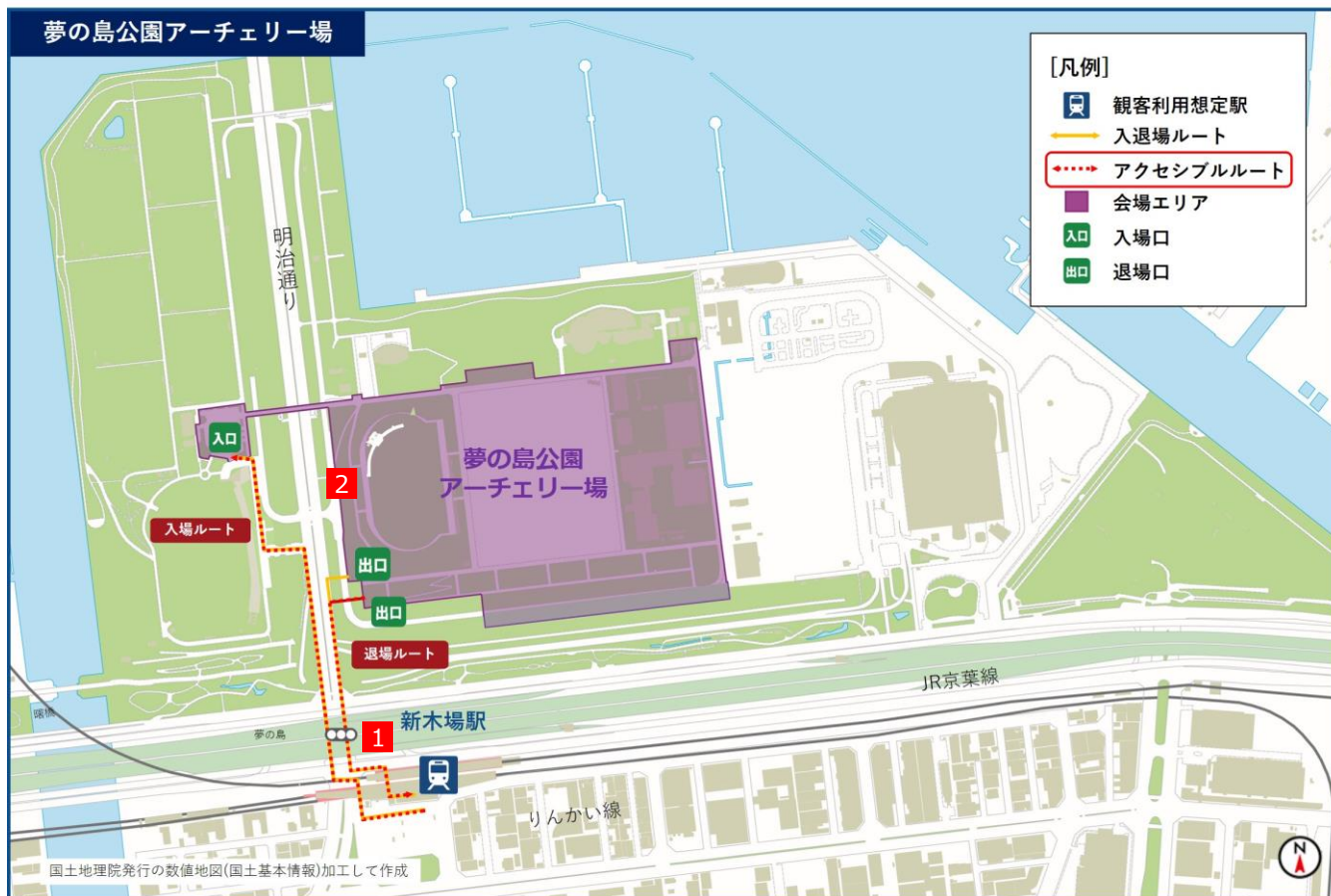


オストメイト用設備

介助用ベッド



アクセシブルルートの観客利用想定駅：JR京葉線、東京メトロ有楽町線、りんかい線「新木場駅」



※上記に記載している出入口やルート等は、大会の有観客による開催を想定した計画であり、無観客により大会時の運用は異なっている。また、現在、この運用はされていない

・勾配改善や連続的な視覚障害者誘導用ブロックやエスコートゾーン等を整備（無電柱化や自転車走行空間の整備に併せて実施）

1 音響信号・エスコートゾーン（夢の島交差点）



2 視覚障害者誘導用ブロック（夢の島公園）



【実施競技】

オリンピック：テニス
パラリンピック：車いすテニス

【施設概要（レガシー）】

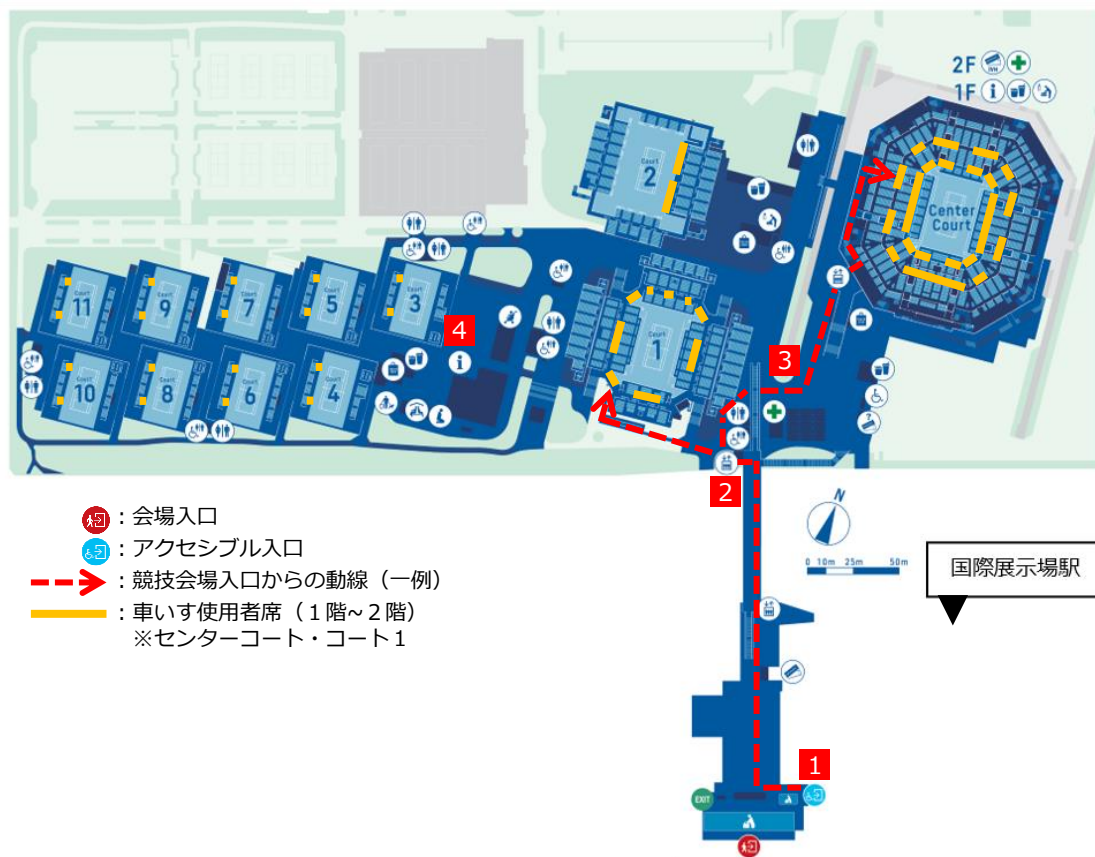
所在地：江東区有明二丁目2番22号
（有明テニスの森公園）
主要施設：ハードコート／32面、
砂入り人工芝コート／16面
有明コロシアム／1棟など



競技会場入口からの動線

- ・大会時に仮設で設置した会場入口には、アクセシブル専用の入口を設け、スロープを設置
- ・会場入口（アクセシブル入口）からの動線は、高齢者や障害者、乳幼児連れ、補助犬ユーザー等がスムーズに移動できる適切な通路幅を確保し、利用者に分かりやすい経路を設定
- ・大会時は、視覚障害者や高齢者にも見やすい大きさや色、フォントの文字等の使用した案内サインを適所に仮設で設置
- ・車いす使用者等も駅から迂回せず会場へアクセスするため、歩道橋のエレベーターを使用

■会場マップ



1 アクセシブル入口（仮設）



2 エレベーター（恒設）



3 競技会場マップ（仮設）



4 インフォメーション（仮設）

車いす使用者席・観客席

- ・車いす使用者等も様々な場所から観戦できるように車いす使用者席を増設、同伴者席・優先席（付加アメニティ席）を新設
- ・前列の観客が立ち上がった場合でも車いす使用者の視界を妨げないようサイトラインを確保
- ・車いす使用者や同伴者が快適に利用できる十分な広さのスペースを確保
- ・観客席階段には手がかりを設置

アクセシビリティに配慮した各種トイレ（恒設）

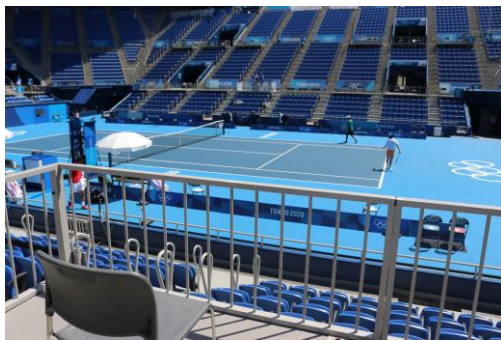
- ・利用者それぞれに対応した「車いす対応トイレ」「男女共用トイレ」「オストメイト対応トイレ」「乳幼児対応トイレ」などを恒設で設置
- ・車いす対応トイレの便房内は、車いす使用者が快適に利用できる十分な広さのスペースを確保
- ・視覚障害者にも分かりやすく利用できるよう音声案内設備や触知案内板を設置
- ・非常呼び出しボタンは、床に倒れた際にも使用できるよう低い位置にも設置

車いす使用者席（恒設）



※センターコート

競技エリアの見え方（2階車いす使用者席）



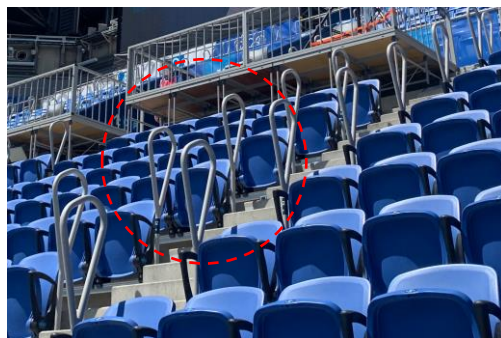
※センターコート

スロープ（恒設）



※センターコートへの接続

観客席 手がかり（恒設）



※センターコート

車いす対応トイレ



非常呼び出しボタン

手すり

オストメイト対応トイレ



オストメイト用設備

手すり
非常呼び出しボタン

男女共用トイレ



出入口



音声案内設備

触知案内板



アクセシブルルートの観客利用想定駅：りんかい線「国際展示場駅」



- ・駅前広場の整備に併せて、勾配改善や視覚障害者誘導用ブロックを整備

1 視覚障害者誘導用ブロック（駅前広場）



整備

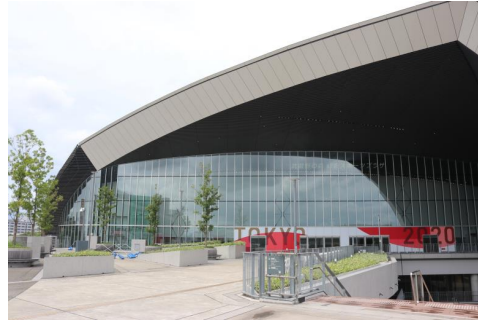
※上記に記載している出入口やルート等は、大会の有観客による開催を想定した計画であり、無観客により大会時の運用は異なっている。また、現在、この運用はされていない

【実施競技】

オリンピック：バドミントン、近代五種
パラリンピック：車いすバスケットボール

【施設概要（レガシー）】

所在地：調布市西町290番11
延べ面積：約50,000㎡
建物：地下1階、地上4階

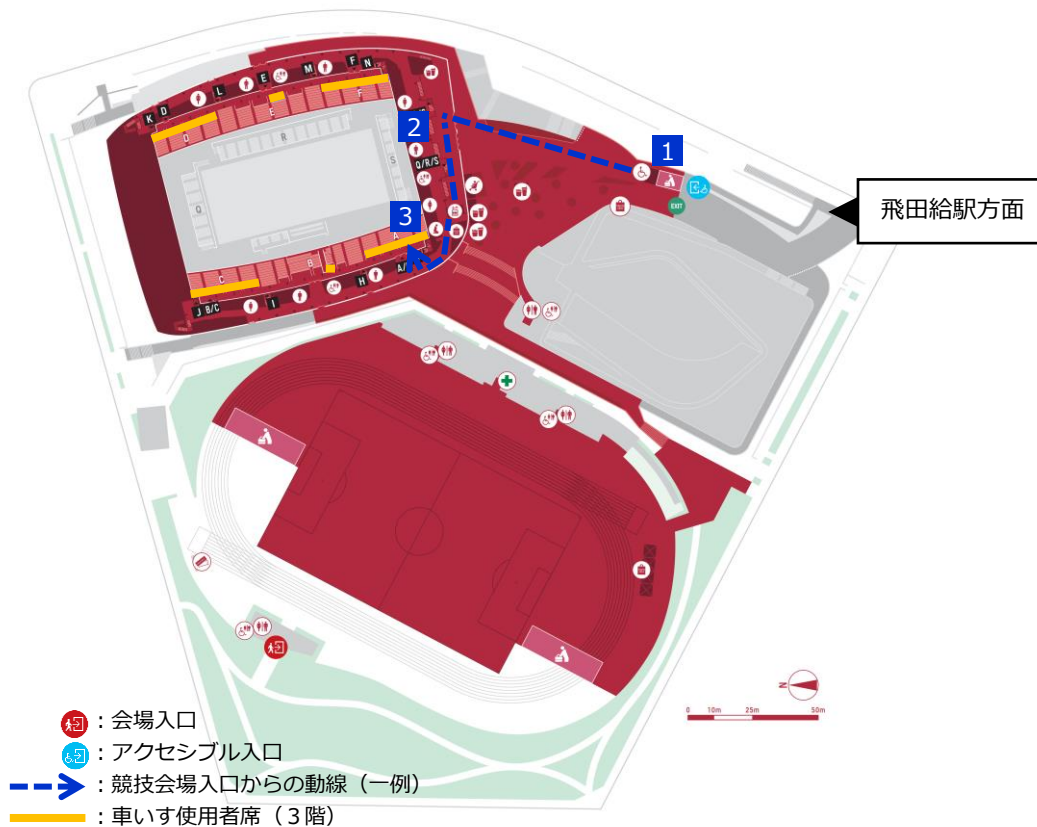


競技会場入口からの動線

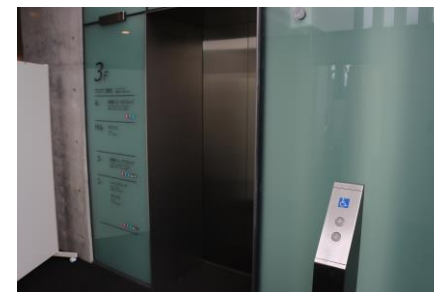
- ・駅から会場までの距離が離れているため、会場入口部分ではなく、会場の建物の入口（中4F）に接続するデッキ上にアクセシブル専用の入口を設け、スロープを設置
- ・会場入口（アクセシブル入口）からの動線は、高齢者や障害者、乳幼児連れ、補助犬ユーザー等がスムーズに移動できる適切な通路幅を確保し、利用者に分かりやすい経路を設定

■会場マップ

※大会時はアリーナ部分にも仮設観客席を設置



1 アクセシブル入口/会場側（仮設）



3 エレベーター（恒設）



2 競技会場マップ（仮設）

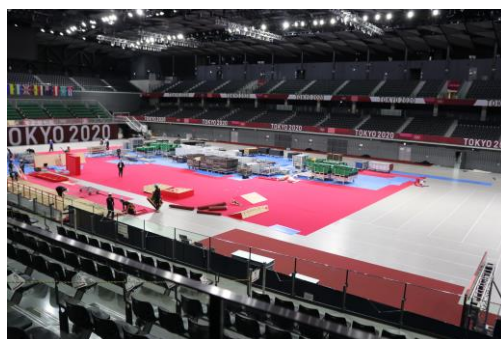
車いす使用者席・観客席

- ・既存の観客席を改修し、車いす使用者席を水平方向に分散にして増設、同伴席・優先席（付加アメニティ席）・区画席を新設
- ・前列の観客が立ち上がった場合でも車いす使用者の視界を妨げないようサイトラインを確保
- ・車いす使用者や同伴者が快適に利用できる十分な広さのスペースを確保

車いす使用者席（恒設）



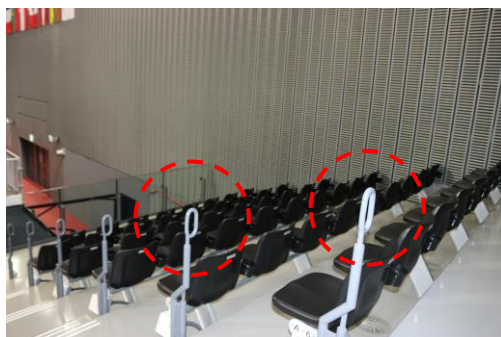
競技エリアの見え方（車いす使用者席）



席の番号表示（恒設）



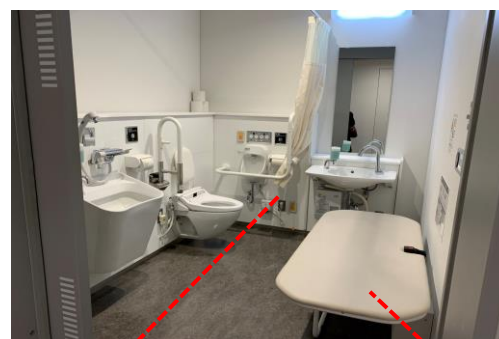
観客席 手がかり（恒設）



アクセシビリティに配慮した各種トイレ（恒設）

- ・利用者それぞれに対応した「車いす対応トイレ」「オストメイト対応トイレ」「乳幼児対応トイレ」などを恒設で設置
- ・車いす対応トイレを男女共用トイレとしても利用可能とし、プライバシーを確保できるようにカーテンを設置
- ・車いす対応トイレの便房内は、車いす使用者が快適に利用できる十分な広さのスペースを確保
- ・視覚障害者にも分かりやすく利用できるよう音声案内設備や触知案内板を設置

車いす対応トイレ



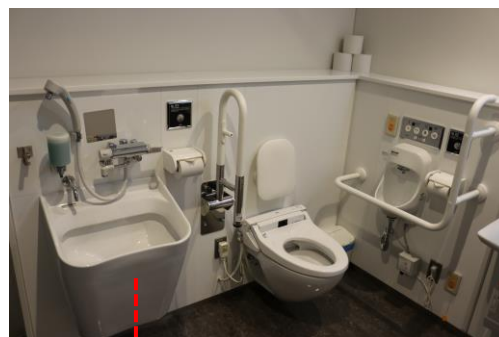
カーテン

介助用ベッド

触知案内板・音声案内設備



オストメイト対応トイレ



オストメイト用設備

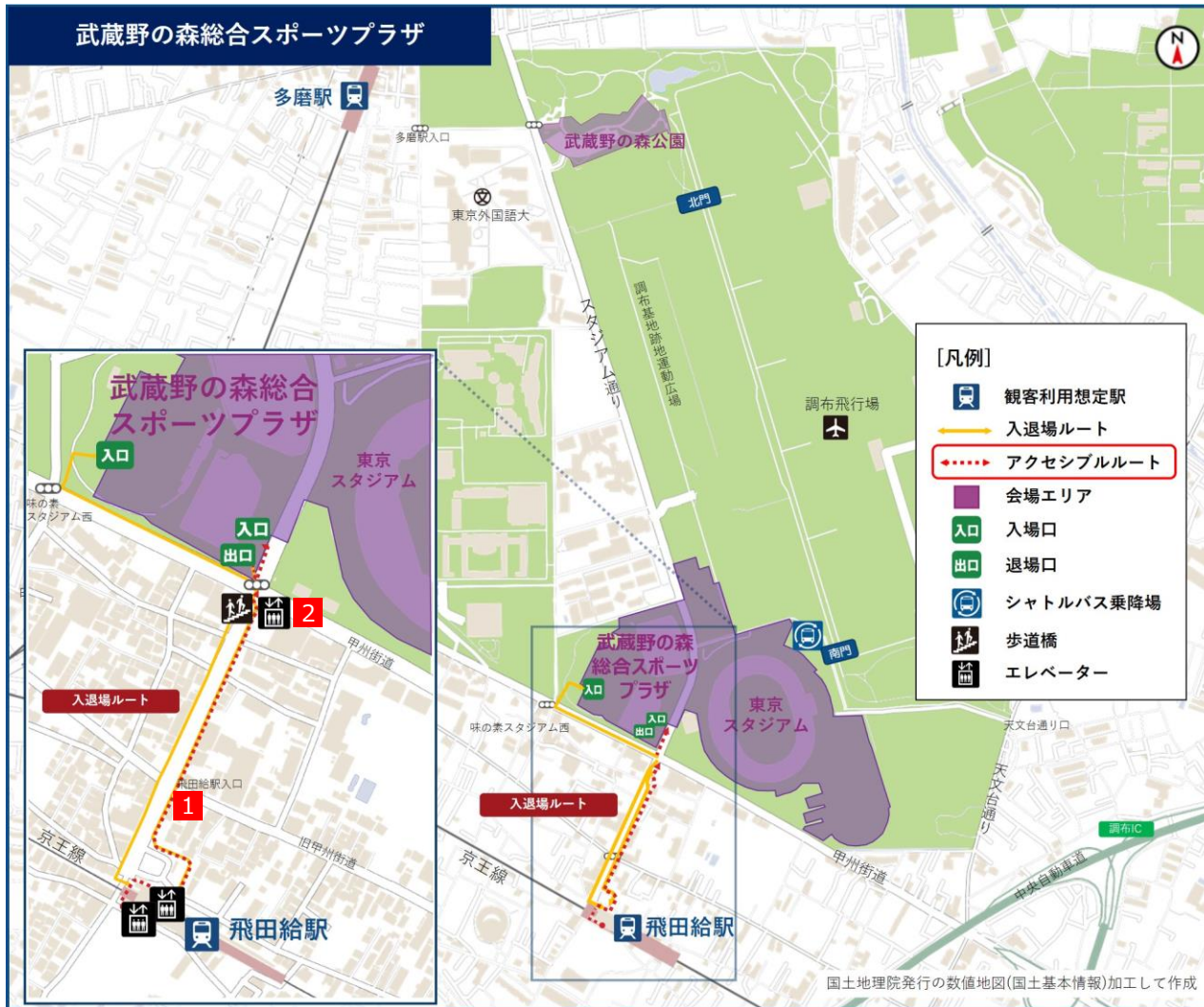
乳幼児対応トイレ



おむつ交換台

ベビーチェア

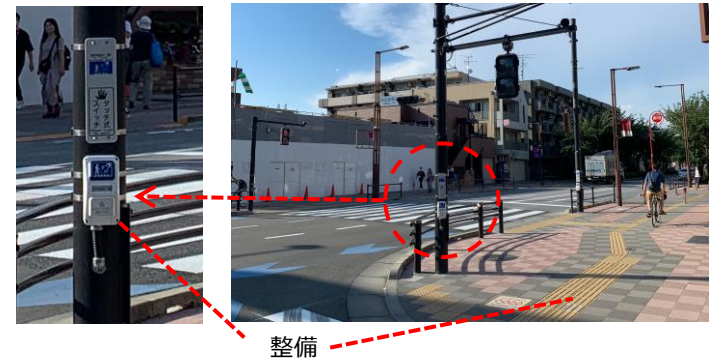
アクセシブルルートの観客利用想定駅：京王線「飛田給駅」



※上記に記載している出入口やルート等は、大会の有観客による開催を想定した計画であり、無観客により大会時の運用は異なっている。また、現在、この運用はされていない

・視覚障害者誘導用ブロックや音響信号等を整備、歩道のセミフラット化による勾配改善（無電柱化の整備に併せて実施）

1 視覚障害者誘導用ブロック・音響信号（スタジアム通り）



2 エレベーター（東京スタジアム前の歩道橋）



【実施競技】

オリンピック：卓球
パラリンピック：卓球

【施設概要（レガシー）】

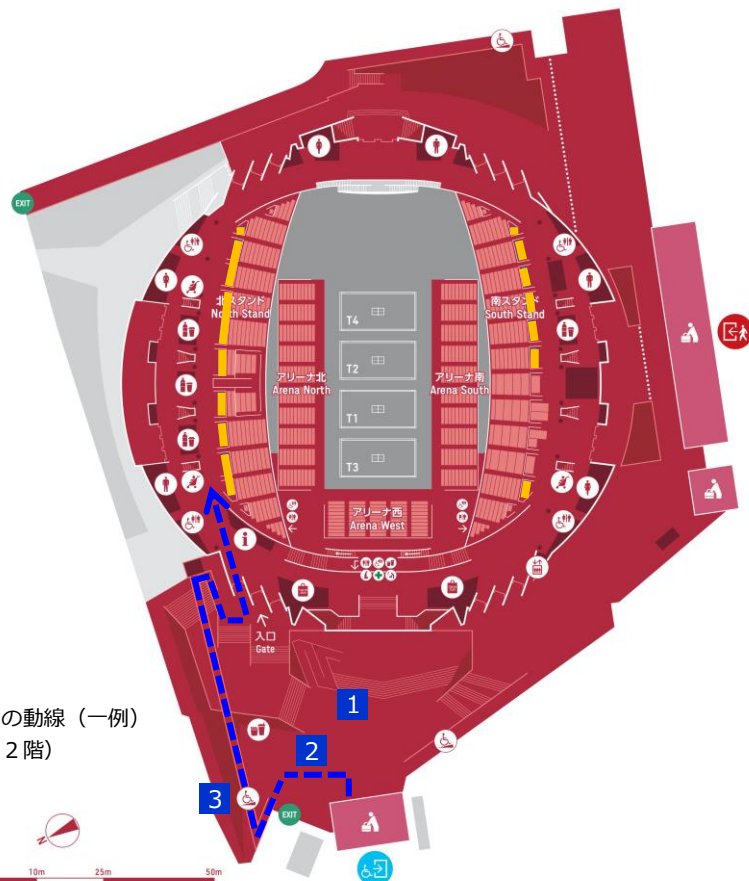
所在地：渋谷区千駄ヶ谷一丁目17番1号
延べ面積：約40,000㎡
建物：地下2階、地上3階



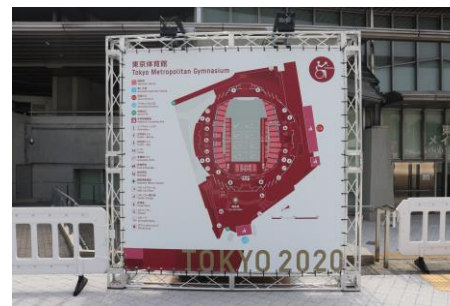
競技会場入口からの動線

- ・大会時に仮設で設置した会場入口には、アクセシブル専用の入口を設置
- ・会場入口（アクセシブル入口）からの動線は、高齢者や障害者、乳幼児連れ、補助犬ユーザー等がスムーズに移動できる適切な通路幅を確保し、利用者に分かりやすい経路を設定
- ・大会時は、視覚障害者や高齢者にも見やすい大きさや色、フォントの文字等を使用した案内サインを仮設で設置
- ・乳幼児連れでも安心して来場できるように、ベビーケアルームやベビーカー置き場を設置

■会場マップ



千駄ヶ谷駅方面



1 競技会場マップ（仮設）



2 競技会場外観



3 スロープ（恒設）

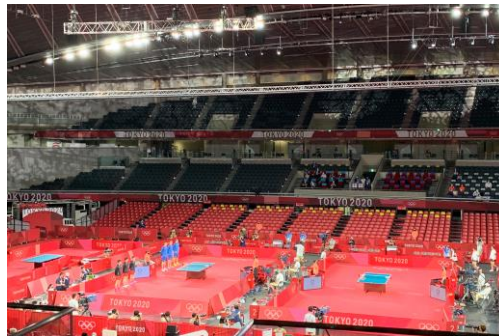
車いす使用者席・観客席

- ・既存の観客席を改修し、車いす使用者席を水平分散に増設、同伴者席・優先席（付加アメニティ席）・区画席を新設
- ・前列の観客が立ち上がった場合でも車いす使用者の視界を妨げないようサイトラインを確保
- ・車いす使用者や同伴者が快適に利用できる十分な広さのスペースを確保
- ・階段の降り口・昇り口に点状ブロックを敷設するとともに、段鼻にはコントラストを付けて視認性を確保

車いす使用者席（恒設）



競技エリアの見え方（車いす使用者席）

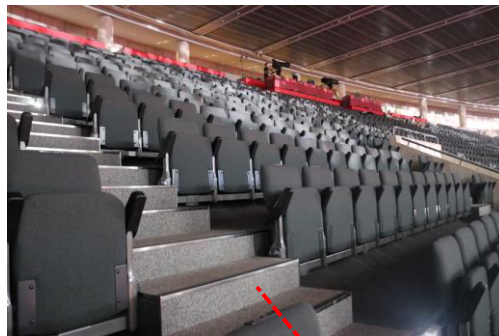


通路（恒設）



点状ブロック

観客席（恒設）

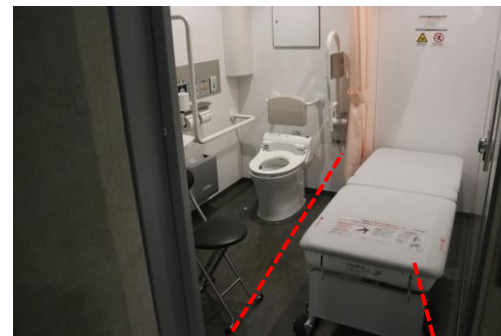


段鼻

アクセシビリティに配慮した各種トイレ（恒設）

- ・利用者それぞれに対応した「車いす対応トイレ」「オストメイト対応トイレ」「乳幼児対応トイレ」などを恒設で設置
- ・車いす対応トイレを男女共用トイレとしても利用可能とし、プライバシーを確保できるようにカーテンを設置
- ・車いす対応トイレの便房内は、車いす使用者が快適に利用できる十分な広さのスペースを確保
- ・災害発生を発光で知らせるフラッシュライトを設置
- ・補助犬ユーザーも安心して来場できるよう、補助犬用トイレスペースを確保

車いす対応トイレ



カーテン 介助用ベッド

フラッシュライト



乳幼児対応トイレ



おむつ交換台

補助犬用ペットシート・専用汚物入れ



アクセシブルルートの観客利用想定駅：JR中央・総武線「千駄ヶ谷駅前駅」、都営大江戸線「国立競技場駅」



・駅前交差点の歩道整備に併せて、視覚障害者誘導用ブロックやエスコートゾーンを整備

1 視覚障害者誘導用ブロック・エスコートゾーン (千駄ヶ谷駅前)



※上記に記載している出入口やルート等は、大会の有観客による開催を想定した計画であり、無観客により大会時の運用は異なっている。また、現在、この運用はされていない

【実施競技】

オリンピック：水球

【施設概要（レガシー）】

所在地：江東区辰巳二丁目8番10号

延べ面積：約20,000㎡

建物：地下2階、地上3階



競技会場入口からの動線

- ・大会時に仮設で設置した会場入口には、アクセシブル専用の入口を設置
- ・会場入口（アクセシブル入口）からの動線は、高齢者や障害者、乳幼児連れ、補助犬ユーザー等がスムーズに移動できる適切な通路幅を確保し、利用者に分かりやすい経路を設定
- ・会場入口からのルートは、車いす使用者が通行しやすいようすべて舗装
- ・大会時は、視覚障害者や高齢者にも見やすい大きさや色、フォントの文字等を使用した案内サインを仮設で設置

■会場マップ



辰巳駅方面



1 アクセシブル入口（仮設）



2 競技会場マップ（仮設）



3 インフォメーション・車いす貸出
補助犬用トイレ（仮設）

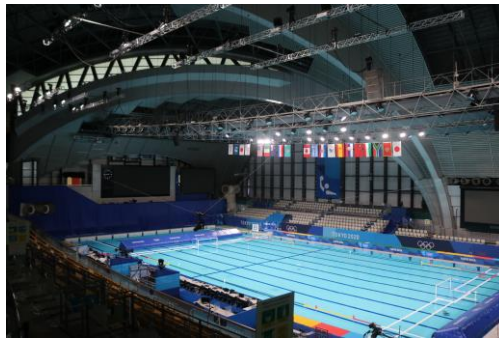
車いす使用者席・観客席

- ・車いす使用者席を水平に分散して増設、同伴者席・優先席（付加アメニティ席）・区画席を新設
- ・前列の観客が立ち上がった場合でも車いす使用者の視界を妨げないようサイトラインを確保
- ・観客席階段に、手がかりを設置。座席には点字案内付き番号表示を設置

車いす使用者席（恒設）



競技エリアの見え方（車いす使用者席）



席の番号表示／点字（恒設）



観客席 手がかり（恒設）



アクセシビリティに配慮した各種トイレ（恒設）

- ・利用者それぞれに対応した「車いす対応トイレ」「オストメイト対応トイレ」「乳幼児対応トイレ」などを恒設で設置
- ・車いす対応トイレを男女共用トイレとしても利用可能とし、プライバシーを確保できるようにカーテンを設置
- ・車いす対応トイレの便房内は、車いす使用者が快適に利用できる十分な広さのスペースを確保
- ・便房内の手すりは、壁面等と異なる配色とするなど、コントラスト確保に配慮

車いす対応トイレ



カーテン 手すり

乳幼児対応トイレ



ベビーチェア 着替え台

オストメイト対応トイレ



手すり オストメイト用設備

ピクトグラム



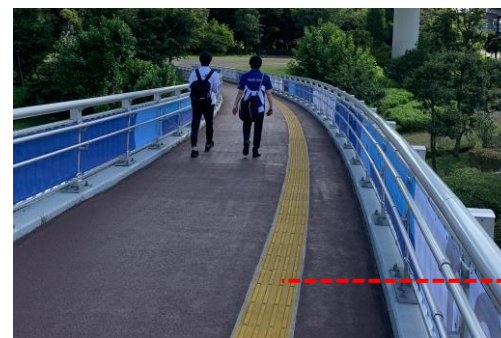
アクセシブルルートの観客利用想定駅：東京メトロ有楽町線「辰巳駅」



※上記に記載している出入口やルート等は、大会の有観客による開催を想定した計画であり、無観客により大会時の運用は異なっている。また、現在、この運用はされていない

- ・視覚障害者誘導用ブロック、エスコートゾーン等を整備
- ・辰巳国際水泳場のペDESTリアンデッキにエレベーターを新設

1 視覚障害者誘導用ブロック（辰巳の森歩道橋）



整備

2 エレベーター（辰巳国際水泳場）



整備

【実施競技】

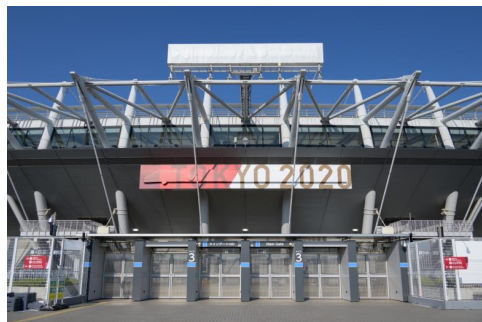
オリンピック：サッカー、ラグビー、近代五種

【施設概要（レガシー）】

所在地：調布市西町376番地3

延べ面積：約90,000㎡

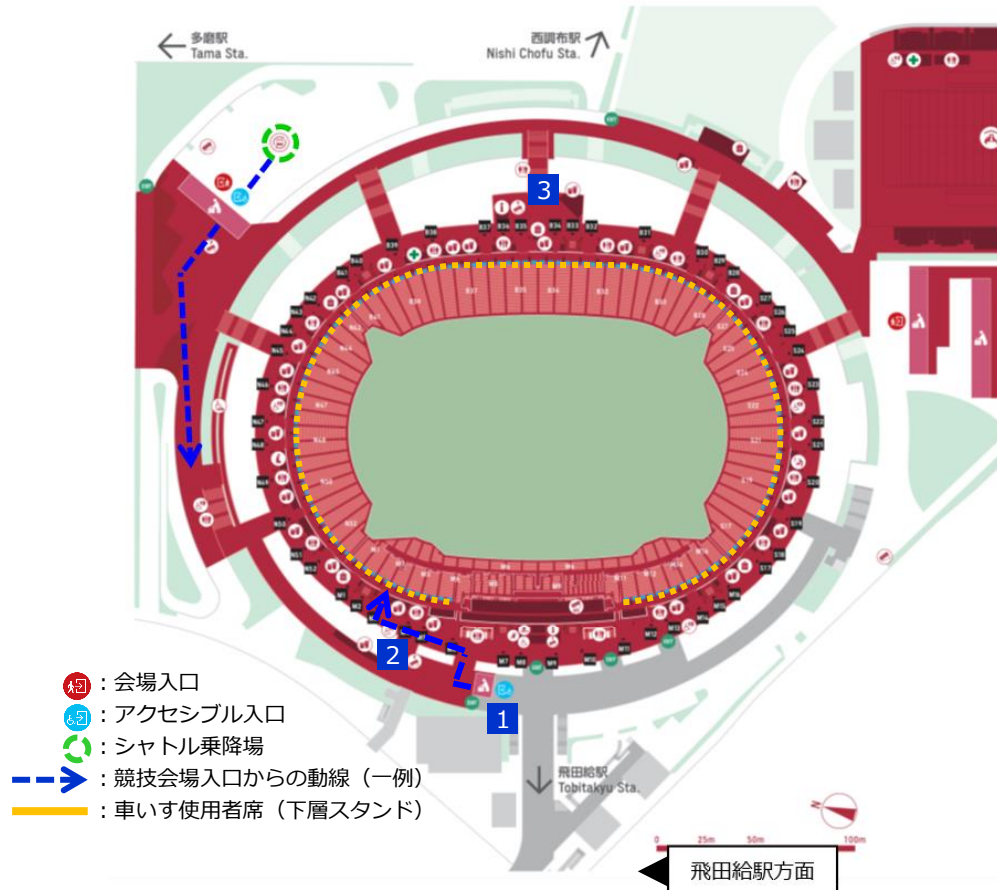
建物：地下1階、地上5階



競技会場入口からの動線

- 大会時に仮設で設置した飛田給駅側及びシャトルバス乗降場がある多磨駅側の会場入口には、アクセシブル専用の入口を設け、スロープを設置
- 会場入口（アクセシブル入口）からの動線は、高齢者や障害者、乳幼児連れ、補助犬ユーザー等がスムーズに移動できる適切な通路幅を確保し、利用者に分かりやすい経路を設定
- 大会時は、西調布駅側及び多磨駅側の入退場をサポートするため、車いす使用者等が利用できるモビリティカートの乗降場を設置

■会場マップ



1 アクセシブル入口/会場側（仮設）



3 モビリティカート乗降場（仮設）



2 競技会場マップ（仮設）

車いす使用者席・観客席

- ・車いす使用者席を垂直・水平に分散して増設。同伴者席・優先席（付加アメニティ席）・区画席を新設
- ・前列の観客が立ち上がった場合でも車いす使用者の視界を妨げないようサイトラインを確保
- ・車いす使用者や同伴者が快適に利用できる十分な広さのスペースを確保
- ・階段の降り口・昇り口に点状ブロックを敷設するとともに、段鼻にはコントラストを付けて視認性を確保

車いす使用者席（恒設）



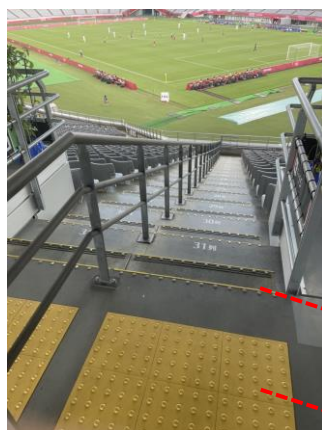
競技エリアの見え方（車いす使用者席）



車いす使用者席案内表示（恒設）



縦通路階段（恒設）



段鼻

点状ブロック

アクセシビリティに配慮した各種トイレ（恒設）

- ・利用者それぞれに対応した「車いす対応トイレ」「オストメイト対応トイレ」「乳幼児対応トイレ」などを恒設で設置。（既存倉庫を改修し、車いす対応トイレを増設）
- ・車いす対応トイレを男女共用トイレとしても利用可能とし、プライバシーを確保できるようにカーテンを設置
- ・便房内の手すりは、壁面等と異なる配色とするなど、コントラスト確保に配慮
- ・視覚障害者にも分かりやすく利用できるよう音声案内設備や触知案内板を設置

車いす対応トイレ



介助用ベッド カーテン 手すり

介助用ベッド



手すり

オストメイト対応トイレ



オストメイト用設備

音声案内設備

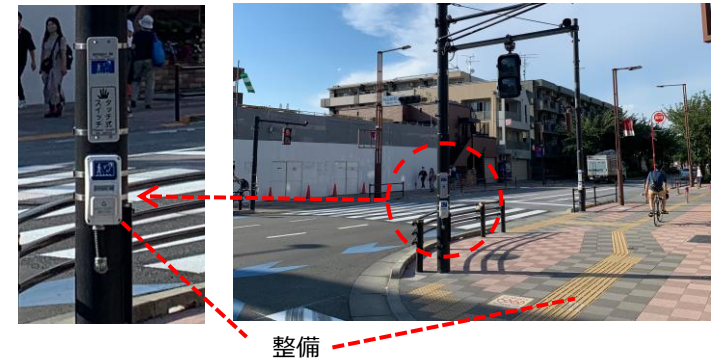


アクセシブルルートの観客利用想定駅：京王線「飛田給駅」



- ・視覚障害者誘導用ブロックや音響信号等を整備、歩道のセミフラット化による勾配改善（無電柱化の整備に併せて実施）

1 視覚障害者誘導用ブロック・音響信号（スタジアム通り）



2 エレベーター（東京スタジアム前の歩道橋）



※上記に記載している出入口やルート等は、大会の有観客による開催を想定した計画であり、無観客により大会時の運用は異なっている。また、現在、この運用はされていない

※想定観客数が多い会場のため、以下の3駅からの既存バス停を活用した車いす利用者も利用可能なシャトルバス運行を計画した。

観客利用想定駅：京王線「調布駅」・小田急線「狛江駅」・JR線「武蔵境駅」

【実施競技】

オリンピック：ウエイトリフティング
 パラリンピック：パワーリフティング

【施設概要】

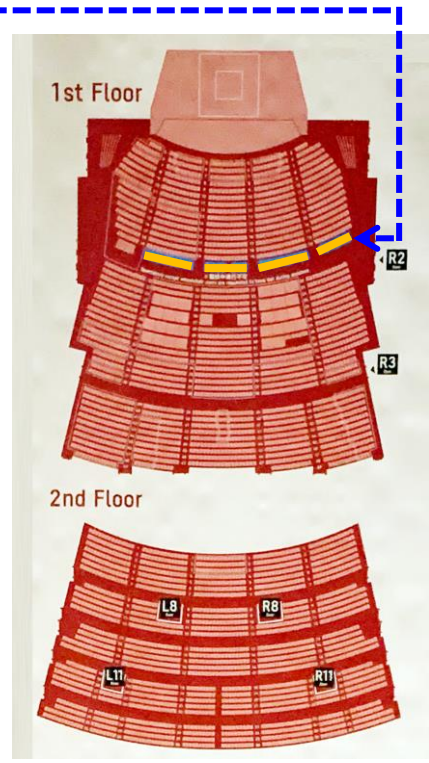
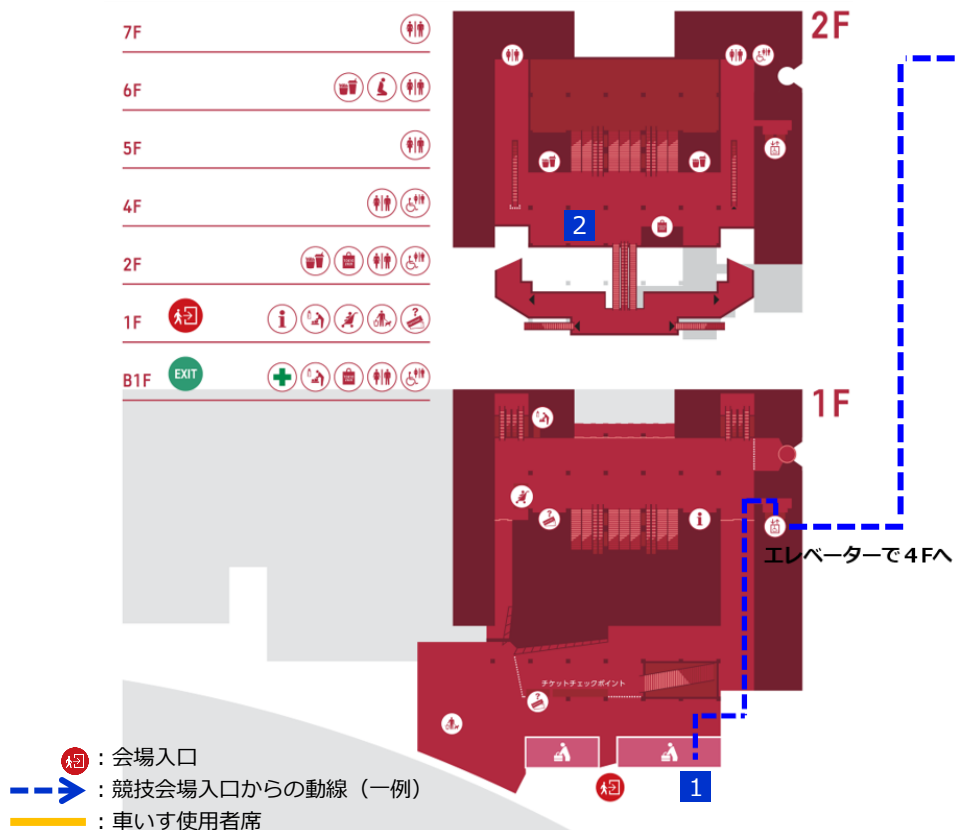
所在地：千代田区丸の内三丁目5番1号
 延べ面積：約145,000㎡
 建物：地下3階、地上11階
 ※競技会場はホールAを使用



競技会場入口からの動線

- ・大会時に仮設で設置した会場入口には、アクセシブル専用の入口を設け、スロープを設置
- ・会場入口（アクセシブル入口）からの動線は、高齢者や障害者、乳幼児連れ、補助犬ユーザー等がスムーズに移動できる適切な通路幅を確保し、利用者に分かりやすい経路を設定
- ・大会時は、視覚障害者や高齢者にも見やすい大きさや色、フォントの文字等の使用した案内サインを仮設で設置

■会場マップ



1 アクセシブル入口/会場側（仮設）



2 観客席配置図（仮設）

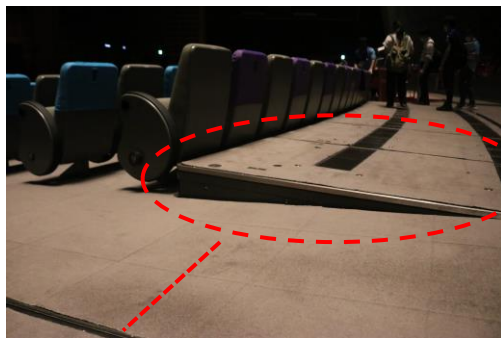
車いす使用者席・観客席

- ・ 入口からアクセスしやすい箇所に車いす使用者席を設置
- ・ 車いすを水平に保つため床面を傾斜調整
- ・ 車いす使用者が快適に利用できる十分な広さのスペースを確保
- ・ 観客席階段に、手がかりを設置

車いす使用者席（恒設）

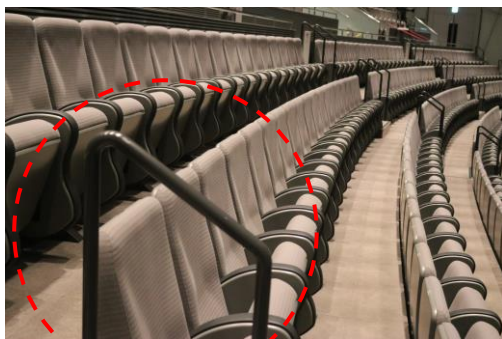


座席の水平調整（恒設）



車いすを水平に保つための傾斜調整

観客席 手がかり（恒設）



アクセシビリティに配慮した各種トイレ（恒設）

- ・ 利用者それぞれに対応した「車いす対応トイレ」「乳幼児対応トイレ」などを恒設で設置
- ・ 車いす対応トイレの便房内は、車いす使用者が快適に利用できる十分な広さのスペースを確保
- ・ 視覚障害者にも分かりやすく利用できるよう音声案内設備を設置

車いす対応トイレ



介助用ベッド

乳幼児対応トイレ



おむつ交換台

音声案内設備



アクセシブルルートの観客利用想定駅：JR京浜東北線・山手線「有楽町駅」、東京メトロ有楽町線「有楽町駅」



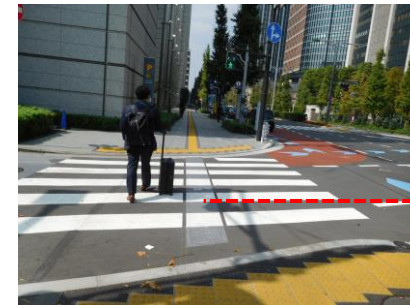
・視覚障害者誘導用ブロックやエスコートゾーンを連続的に整備。ベンチも設置

1 視覚障害者誘導用ブロック・休憩用ベンチ



整備

2 エスコートゾーン



整備

3 エレベーター（地下鉄有楽町駅連絡口）



整備

※上記に記載している出入口やルート等は、大会の有観客による開催を想定した計画であり、無観客により大会時の運用は異なっている。また、現在、この運用はされていない

【実施競技】

オリンピック：体操競技、新体操、トランポリン
パラリンピック：ボッチャ

【施設概要】

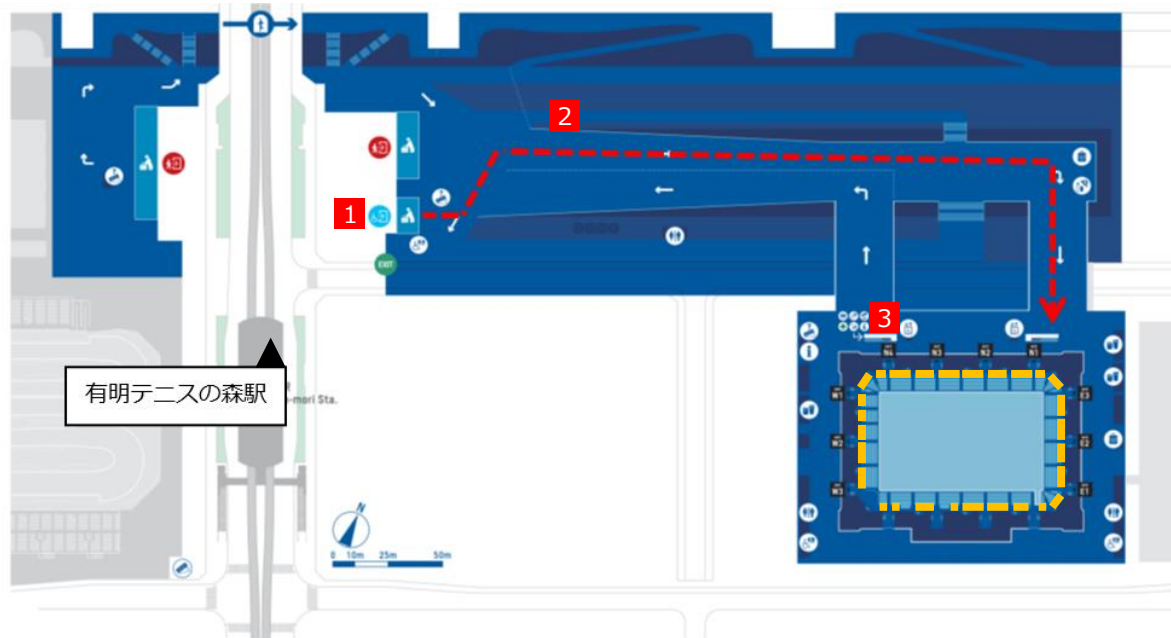
所在地：江東区有明一丁目10番1号



競技会場入口からの動線

- ・会場入口にアクセシブル専用の入口を設置
- ・高齢者や障害者、乳幼児連れ、補助犬ユーザー等が移動するのに適切な通路幅を確保し、利用者に分かりやすい経路を設定
- ・アクセシブル入口から会場（建物）入口がある2階コンコースまでスムーズに移動できるよう、建設時の発生土を用いて盛土スロープを設置
- ・視覚障害者や高齢者にも見やすい大きさや色、フォントの文字等を使用した案内サインを設置

■会場マップ



1 アクセシブル入口（仮設）



2 入口から2Fコンコースまでの盛土スロープ（仮設）

- (赤) : 会場入口
- (青) : アクセシブル入口
- > (赤) : 競技会場入口からの動線（一例）
- (黄) : 車いす使用者席（2階）

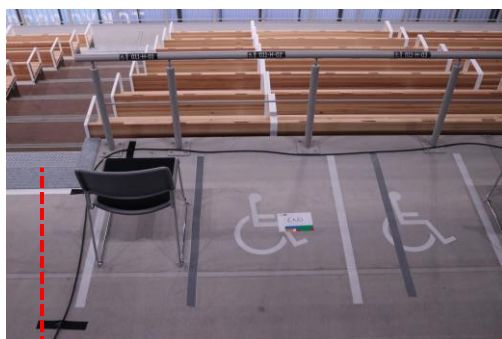


3 競技会場マップ（仮設）

車いす使用者席・観客席

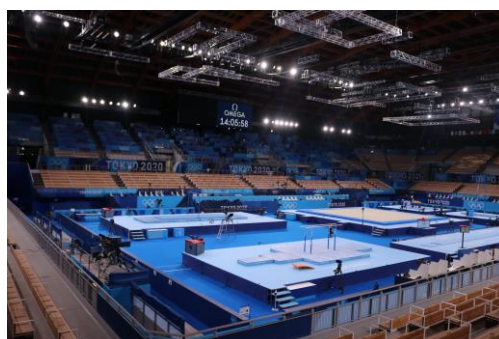
- ・ 入口からアクセスしやすい箇所に車いす使用者席を設置
- ・ 車いす使用者や同伴者が快適に利用できる十分な広さのスペースを確保
- ・ 前列の観客が立ち上がった場合でも車いす使用者の視界を妨げないようサイトラインを確保
- ・ 階段に点状ブロックを敷設するとともに、段鼻にはコントラストを付けて視認性を確保

車いす使用者席（仮設）



点状ブロック

競技エリアの見え方（車いす使用者席）



観客席（仮設）



段鼻

席の番号表示（仮設）



アクセシビリティに配慮した各種トイレ（仮設）

- ・ 車いす使用者等がスムーズにアクセスできるよう、入口にスロープを設置
- ・ 車いす対応トイレの便房内は、車いす使用者が快適に利用できる十分な広さのスペースを確保
- ・ 乳幼児対応設備やオストメイト用設備を設置するなど、多様な利用形態に対応
- ・ 非常呼び出しボタンは、床に倒れた際にも使用できるよう低い位置にも設置

車いす対応トイレ



非常呼び出しボタン

乳幼児対応トイレ



おむつ交換台

オストメイト対応トイレ



オストメイト用設備

スロープ



アクセシブルルートの観客利用想定駅：ゆりかもめ「有明テニスの森駅」



・視覚障害者誘導用ブロックを未設置箇所に追加する等の整備を実施

1 視覚障害者誘導用ブロック（会場付近）



※上記に記載している出入口やルート等は、大会の有観客による開催を想定した計画であり、無観客により大会時の運用は異なっている。
また、現在、この運用はされていない

【実施競技】

オリンピック：スケートボード、BMXレーシング、
BMXフリースタイル

【施設概要】

所在地：江東区有明一丁目7番



競技会場入口からの動線

- ・会場入口にアクセシブル専用の入口を設置
- ・会場入口（アクセシブル入口）からの動線は、高齢者や障害者、乳幼児連れ、補助犬ユーザー等がスムーズに移動できる適切な通路幅を確保し、利用者に分かりやすい経路を設定
- ・車いす席までのスムーズな移動に配慮し、可能な限りケーブルブリッジを活用するとともに足元のケーブルには傾斜が緩やかなカバーを敷設し、段差を解消

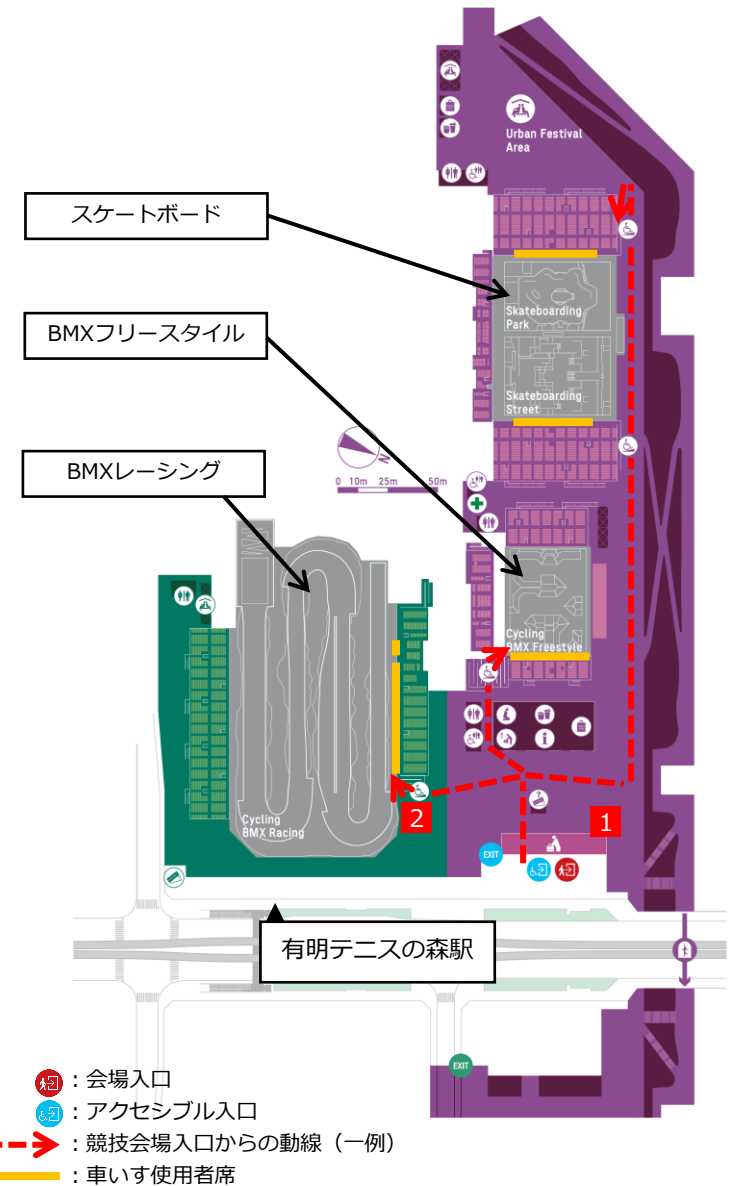


1 競技会場内案内サイン（屋外・仮設）



2 ケーブルカバー（仮設）

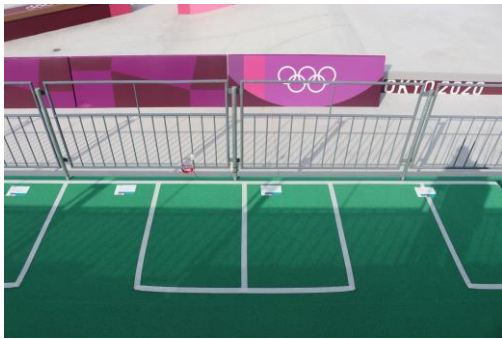
■会場マップ



車いす使用者席・観客席

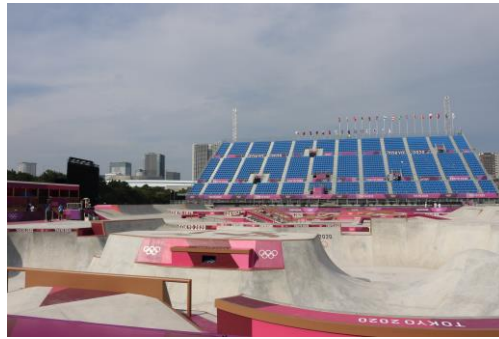
- ・入口からアクセスしやすい箇所に車いす使用者席を設置
- ・車いす使用者等がスムーズにアクセスできるようスロープを設置
- ・観客席の前列に車いす使用者席を配置し、車いす使用者のサイトラインを確保
- ・車いす使用者や同伴者が快適に利用できる十分な広さのスペースを確保

車いす使用者席（仮設）



※BMXフリースタイル

競技エリアの見え方（車いす使用者席）



※スケートボード

スロープ（仮設）



※BMXレーシング

競技エリアの見え方（観客席）



※BMXレーシング

アクセシビリティに配慮した各種トイレ（仮設）

- ・車いす使用者等がスムーズにアクセスできるよう、入口にスロープを設置
- ・車いす対応トイレの便房内は、車いす使用者が快適に利用できる十分な広さのスペースを確保
- ・オストメイト用設備、介助用ベッドを設置するなど、多様な利用形態に対応
- ・便房内の手すりは、壁面等と異なる配色とするなど、コントラスト確保に配慮

車いす対応トイレ



介助用ベッド

手すり

介助用ベッド



手すり

オストメイト対応トイレ



手すり

オストメイト用設備

スロープ

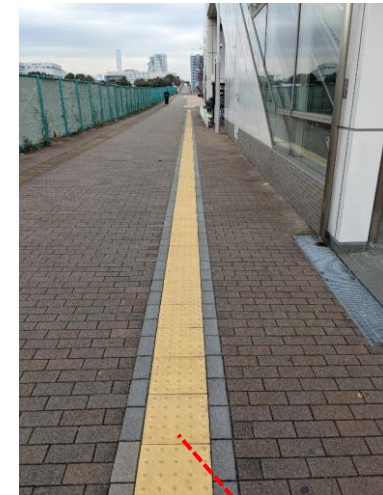


アクセシブルルートの観客利用想定駅：ゆりかもめ「有明テニスの森駅」



- ・視覚障害者誘導用ブロックを未設置箇所に追加する等の整備を実施

1 視覚障害者誘導用ブロック（会場付近）



※上記に記載している出入口やルート等は、大会の有観客による開催を想定した計画であり、無観客により大会時の運用は異なっている。
また、現在、この運用はされていない

【実施競技】

オリンピック：マラソンスイミング、トライアスロン
 パラリンピック：トライアスロン

【施設概要】

所在地：港区台場一丁目

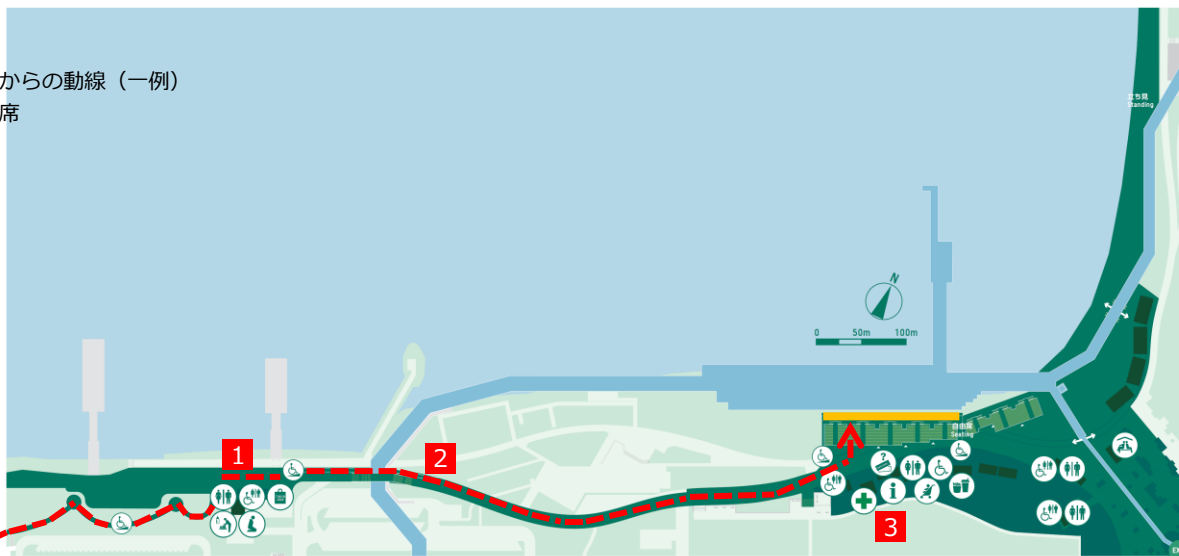


競技会場入口からの動線

- ・会場入口にアクセシブル専用の入口を設け、スロープを設置
- ・会場入口（アクセシブル入口）からの動線は、舗装された園路を通行。高齢者や障害者、乳幼児連れ、補助犬ユーザー等がスムーズに移動できる適切な通路幅を確保し、利用者に分かりやすい経路を設定
- ・競技エリアと交差する箇所に仮設歩道橋と併せてスロープを設置し、車いす使用者等のスムーズな移動を確保

■会場マップ

- ➔ : 競技会場入口からの動線（一例）
- : 車いす使用者席



※競技会場入口は、建物部分から距離が離れているため、マップには記載していない



1 観客動線（園路）



2 スロープ（仮設）



3 インフォメーション（仮設）

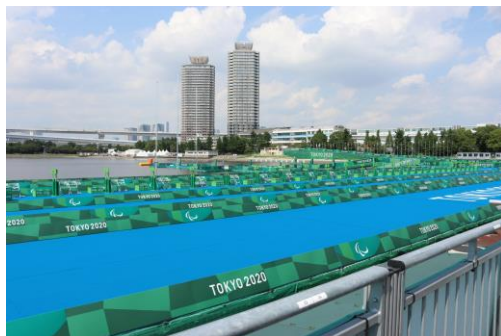
車いす使用者席・観客席

- ・入口からアクセスしやすい箇所に車いす使用者席を設置
- ・車いす使用者等がスムーズにアクセスできるようスロープを設置
- ・観客席の前列に車いす使用者席を配置し、車いす使用者のサイトラインを確保
- ・車いす使用者が快適に利用できる十分な広さのスペースを確保
- ・階段に点状ブロックを敷設するとともに、段鼻にはコントラストを付けて視認性を確保

車いす使用者席（仮設）



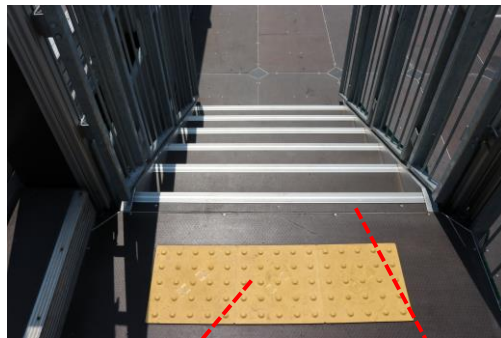
競技エリアの見え方（車いす使用者席）



スロープ（仮設）



観客席 縦階段通路（仮設）



点状ブロック

段鼻

アクセシビリティに配慮した各種トイレ（仮設）

- ・車いす使用者等がスムーズにアクセスできるよう、入口にスロープを設置
- ・車いす対応トイレの便房内は、車いす使用者が快適に利用できる十分な広さのスペースを確保するとともに、介助用ベッドも設置
- ・便房内の手すりは、壁面等と異なる配色とするなど、コントラスト確保に配慮
- ・非常呼び出しボタンは、床に倒れた際にも使用できるよう低い位置にも設置

車いす対応トイレ



手すり

介助用ベッド

非常呼び出しボタン



手すり

スロープ



アクセシブルルートの観客利用想定駅：入場時／ゆりかもめ「台場駅」、退場時／ゆりかもめ「お台場海浜公園駅」



※上記に記載している出入口やルート等は、大会の有観客による開催を想定した計画であり、無観客により大会時の運用は異なっている。また、現在、この運用はされていない

- ・入場時は台場駅への接続デッキ上の会場入口から入場
- ・お台場海浜公園駅へアクセスする退場ルートの歩道には視覚障害者誘導用ブロックを連続的に整備し、横断歩道部には音響信号とエスコートゾーンを整備

1 音響信号・エスコートゾーン（会場出口付近）



2 視覚障害者誘導用ブロック（お台場海浜公園駅付近）



【実施競技】

オリンピック：ビーチバレーボール

【施設概要】

所在地：品川区東八潮1番地



競技会場入口からの動線

- ・台場駅への接続デッキ上の会場入口にアクセシブル専用の入口を設置。エレベーターで観客席方面へ移動
- ・高齢者や障害者、乳幼児連れ、補助犬ユーザー等がスムーズに移動できる適切な通路幅を確保し、利用者に分かりやすい経路を設定
- ・車いす使用者等がスムーズに移動できるよう、スロープを設置



1 エレベーター（恒設）



2 競技会場マップ（仮設）

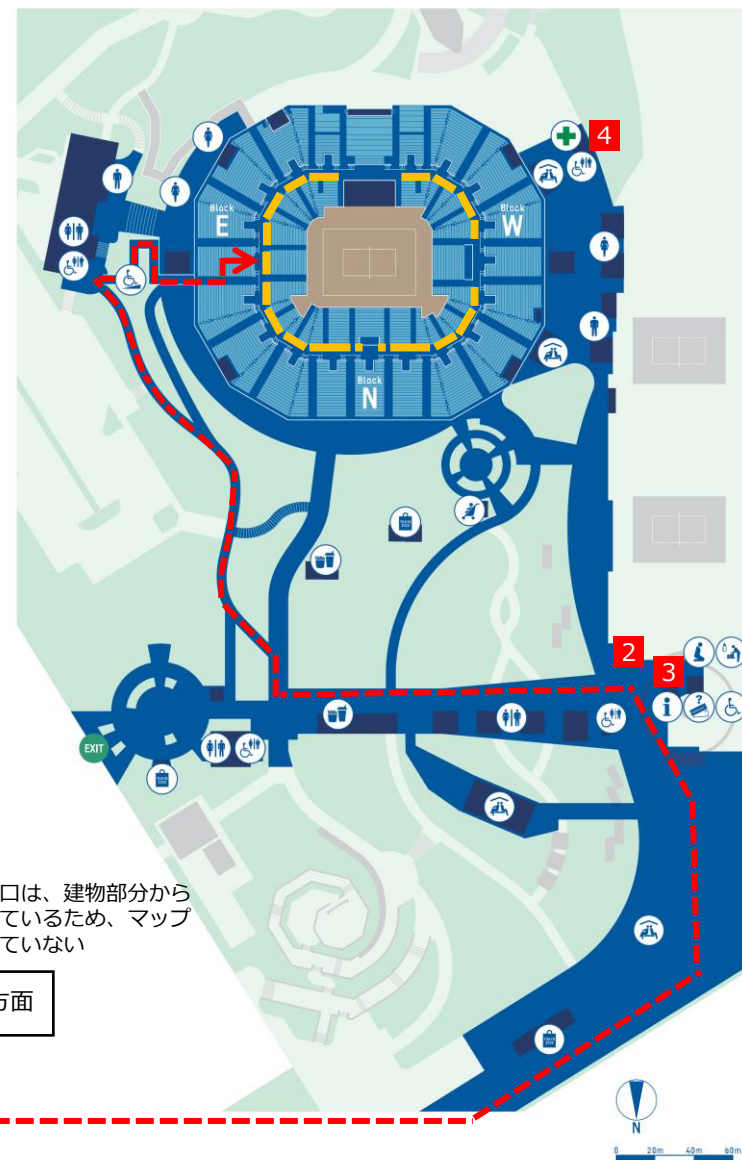


3 インフォメーション（仮設）



4 観客用医務室（仮設）

■会場マップ



※競技会場入口は、建物部分から距離が離れているため、マップには記載していない

台場駅方面

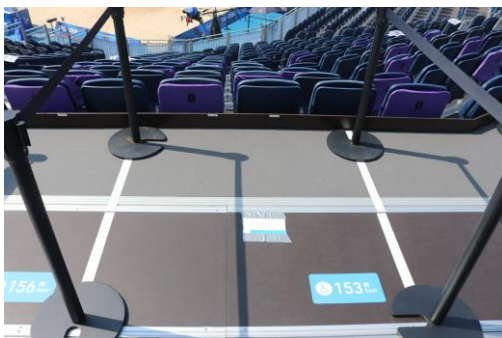
- 1
- > : 競技会場入口からの動線（一例）
- : 車いす使用者席



車いす使用者席・観客席

- ・ 入口からアクセスしやすい箇所に車いす使用者席を設置
- ・ 車いす使用者等がスムーズにアクセスできるようスロープを設置
- ・ 車いす使用者や同伴者が快適に利用できるスペースを確保
- ・ 前列の観客が立ち上がった場合でも車いす使用者の視界を妨げないようサイトラインを確保
- ・ スロープや階段の降り口・昇り口に点状ブロックを敷設するとともに、段鼻にはコントラストを付けて視認性を確保

車いす使用者席（仮設）



競技エリアの見え方（車いす使用者席）

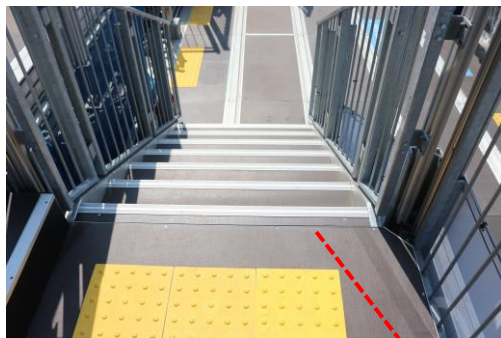


スロープ（仮設）



点状ブロック

観客席 縦階段通路（仮設）



点状ブロック

段鼻

アクセシビリティに配慮した各種トイレ（仮設）

- ・ 車いす使用者等がスムーズにアクセスできるよう、入口にスロープを設置
- ・ 車いす対応トイレの便房内は、車いす使用者が快適に利用できるスペースを確保するとともに、介助用ベッドも設置
- ・ 便房内の手すりは、壁面等と異なる配色とするなど、コントラスト確保に配慮
- ・ 非常呼び出しボタンは、床に倒れた際にも使用できるよう低い位置にも設置

車いす対応トイレ



手すり

非常呼び出しボタン

介助用ベッド



オストメイト対応トイレ



オストメイト用設備

スロープ



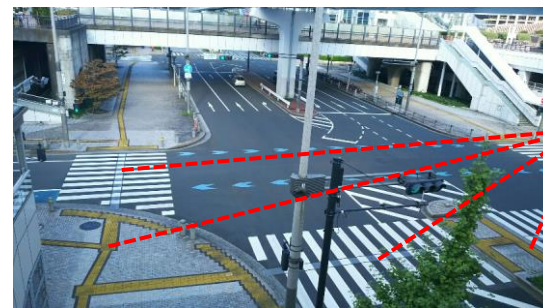
アクセシブルルートの観客利用想定駅：ゆりかもめ「台場駅」



※上記に記載している出入口やルート等は、大会の有観客による開催を想定した計画であり、無観客により大会時の運用は異なっている。また、現在、この運用はされていない

- ・ 入場時は台場駅への接続デッキ上の会場入口から入場。
- ・ 退場時は、会場出口から直進し、エレベーターでデッキ上へ移動し、台場駅へアクセス
- ・ 視覚障害者誘導用ブロックを連続的に整備（自転車走行空間の整備に併せて実施）
- ・ 横断歩道部にはエスコートゾーンを整備

1 視覚障害者誘導用ブロック・エスコートゾーン（台場駅前交差点）



2 視覚障害者誘導用ブロック・エスコートゾーン



【実施競技】

オリンピック：3x3 バスケットボール、
スポーツライミング
パラリンピック：5人制サッカー

【施設概要】

所在地：江東区青海一丁目1番



■会場マップ

※下記マップは、パラリンピック・5人制サッカー競技の時のもの

東京テレポート駅
方面



競技会場入口からの動線

- ・観客席までの距離が近い箇所にアクセシブル専用の入口を設置
- ・高齢者や障害者、乳幼児連れ、補助犬ユーザー等がスムーズに移動できる適切な通路幅を確保し、利用者に分かりやすい経路を設定
- ・連結可能なアクセシブル対応のケーブルジャケットを敷設し、車いす使用者等のスムーズな移動を確保



1 アクセシブル入口（仮設）



2 ケーブルジャケット（仮設）



3 競技会場マップ（仮設）

車いす使用者席・観客席

- ・ 入口からアクセスしやすい箇所に車いす使用者席を設置
- ・ 車いす使用者等がスムーズにアクセスできるようスロープを設置
- ・ 車いす使用者や同伴者が快適に利用できる十分な広さのスペースを確保
- ・ 観客席の前列に車いす使用者席を配置するとともに、席の前にある手すりの高さを低くし、車いす使用者のサイトラインを確保

車いす使用者席（仮設）



競技エリアの見え方（車いす使用者席）



スロープ（仮設）



通路（仮設）



アクセシビリティに配慮した各種トイレ（仮設）

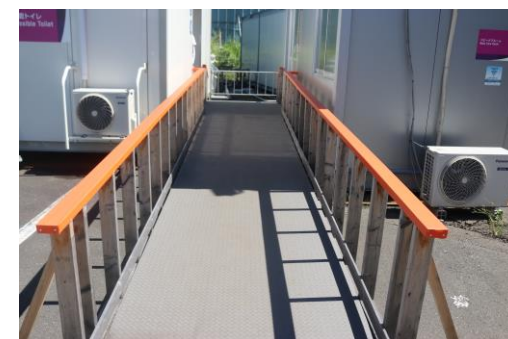
- ・ 車いす使用者等がスムーズにアクセスできるよう、入口にスロープを設置
- ・ 車いす対応トイレの便房内は、車いす使用者が快適に利用できる十分な広さのスペースを確保
- ・ オストメイト用設備、介助用ベッドを設置するなど、多様な利用形態に対応
- ・ 非常呼び出しボタンは、床に倒れた際にも使用できるよう低い位置にも設置

車いす対応トイレ

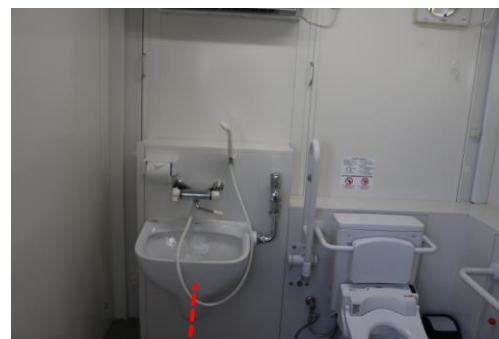


非常呼び出しボタン

スロープ（仮設）



オストメイト対応トイレ



オストメイト用設備

介助用ベッド



アクセシブルルートの観客利用想定駅：りんかい線「東京テレポート駅」



・駅前広場の整備に併せて、段差解消や視覚障害者誘導用ブロックを整備

1 視覚障害者誘導用ブロック（駅前）



整備

※上記に記載している出入口やルート等は、大会の有観客による開催を想定した計画であり、無観客により大会時の運用は異なっている。また、現在、この運用はされていない

【実施競技】

オリンピック：馬術

【施設概要】

所在地：江東区海の森三丁目3番72号



競技会場入口からの動線

- ・シャトルバス乗降場付近に会場入口を設置
- ・高齢者や障害者、乳幼児連れ、補助犬ユーザー等がスムーズに移動できる適切な通路幅を確保し、利用者に分かりやすい経路を設定
- ・観戦エリアの入口に向かうモビリティカートの乗降場を設置
- ・車いす使用者等がスムーズにアクセスできるよう、芝生の上に養生マットを敷設

■会場マップ



- ：会場入口
- ：アクセシブル入口
- ：シャトル乗降場
- >：競技会場入口からの動線（一例）



養生マット

1 オフィシャルショップ（仮設）



2 モビリティカート乗降案内サイン（仮設）

観戦エリア

- ・観戦エリアは、自由に移動して観戦が可能。休憩エリアを設置し、観客の快適な観戦空間を確保
- ・観戦エリアに大型のメインモニターを設置し、競技情報を提供

観戦エリア①



観戦エリア②



メインモニター／競技情報サービス（仮設）



観客休憩エリア／暑さ対策（仮設）



アクセシビリティに配慮した各種トイレ（仮設）

- ※海の森水上競技場と共有
- ※立ち入り可能な仮設トイレを調査

- ・大会時は観客向けに仮設でトイレを設置
- ・車いす使用者等がスムーズにアクセスできるよう、入口にスロープを設置
- ・車いす対応トイレの便房内は、車いす使用者が快適に利用できるスペースを確保
- ・乳幼児対応設備やオストメイト用設備を設置するなど、多様な利用形態に対応

車いす対応トイレ



ベビーチェア

オストメイト対応トイレ



オストメイト用設備

スロープ



アクセシブルルートの観客利用想定駅：りんかい線「東京テレポート駅」（会場にはシャトルバスで移動）



・駅前広場の整備に併せて、段差解消や視覚障害者誘導用ブロックを整備

1 視覚障害者誘導用ブロック（駅前）



整備

※上記に記載している出入口やルート等は、大会の有観客による開催を想定した計画であり、無観客により大会時の運用は異なっている。また、現在、この運用はされていない

<報告書 本編・概要版>

<https://www.2020games.metro.tokyo.lg.jp/taikaiyunbi/houkoku/accessibility-chousa/index.html>



東京2020大会都立競技会場等における観客のアクセシビリティ確保状況調査報告書 ー概要版ー

印刷物規格表第2類
印刷番号 (03) 158

令和4年3月発行

編集・発行 東京都オリンピック・パラリンピック準備局パラリンピック部調整課
〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話：03（5388）2497

